

平成27年度第2回加東市まちづくり推進市民会議次第

と き 平成27年10月21日（水）午後3時～
ところ 加東市滝野図書館 3階 会議場

1 開会

2 挨拶

3 協議

(1) 加東市総合計画後期基本計画の進行管理について

【資料】平成26年度 総合計画 主要施策進行管理シートⅠ・Ⅱ・Ⅲ

〔政策Ⅰ（主要施策コード10101）及び政策Ⅲ〕

(2) 次回の市民会議の日程について

・と き：平成27年12月 日（ ） ： ～

・ところ：

4 その他

5 閉会

《平成27年12月》

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.32

政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
施 策	1	地域文化の継承・発展
主要施策	(1)	市民文化の創造の促進

■主要施策の所管

部等の名称	教育委員会	協働部		
-------	-------	-----	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	作品発表の機会や鑑賞の場を提供することにより、文化や芸術を支える人材が育つとともに市民の意識が高まって、創造性に満ちた地域社会が形成されています。 また、歴史、伝統、民俗、行事などの文化財を地域で守り、活用しながら次代へ継承されています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	芸術・文化施策の重要性（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる芸術・文化に関する施策を重要だと感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	51.8	—	—	56.0	—	—	60.0	B
目標値達成率	—	—	—	99.6%	—	—	—	
（結果の分析）	平成26年度アンケート実施結果により芸術・文化施策の重要性を感じる市民割合が増えた。継続して芸術・文化事業を推進する。							

【指標 2】

指 標	公募美術展の応募作品数（単位：点）							
指標の考え方	市民と近隣市民の文化度							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	411	413	414	416	417	419	420	A
目標値達成率	—	99.0%	91.1%	102.9%	—	—	—	
（結果の分析）	特に写真部門での応募作品数の増により、全体の応募数が増えた。							

【指標 3】

指 標	文化財指定数（単位：件）							
指標の考え方	市の文化財の保全数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	79	83	86	90	93	97	100	B
目標値達成率	—	102.4%	98.8%	95.6%	—	—	—	
（結果の分析）	地域での文化財発掘の調べが順調に活動でき、磨崖仏等指定に値する物が多く発見できた。							

【指標 4】

指 標	資料館等への来場者数（単位：人）							
指標の考え方	地域文化資料の市民への公開							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	1,524	1,570	1,616	1,662	835(1,708)	918(1,754)	1,010(1,800)	D
目標値達成率	—	96.8%	94.2%	45.7%	—	—	—	
（結果の分析）	庁舎統合により人の流れに変化が生じたこと等が減少要因と考える。目標値の見直しを行う。							

【指標 5】

指 標	文化遺産の啓蒙・啓発活動（回）							
指標の考え方	文化遺産の市民への啓蒙・啓発活動							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	8	8	14	18	9	10	10	A
目標値達成率	—	100.0%	155.6%	200%	—	—	—	
（結果の分析）	これからも意欲をもって取り組んでいく。							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	I 『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	1 地域文化の継承・発展
	主要施策	(1) 市民文化の創造の促進
	市の取組	① 文化創造の場や機会の提供

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 文化創造の場や機会の提供
取組方針	<p>広く市民に、文化・芸術のすばらしさや地域でこれらを支える人材を育成することの大切さを理解してもらうため、多様な文化、芸術に触れる機会や発表の場を提供するとともに、地域での文化芸術活動に取り組む個人やグループ、団体を支援していきます。</p>

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		28,082	27,666	26,602	0	0
財 源 内 訳	一般財源	3,495	5,272	3,894	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	24,587	22,394	22,708	0	0
市民1人あたりコスト（円）		706.3	698	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	文化祭・美術展事業					実績・評価	
	所 管 課	生涯学習課					公募美術展公募点数は428点と若干増えているが一時的な変動と判断する。目標は達成していると評価する。	
	事 業 概 要	文化祭の開催による市民の発表機会の提供や公募美術展の開催による地域文化の高揚						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	2,649	2,571	1,986			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値(上段:目標、下段:実績)
そ の 他	187	211	150			公募美術展の応募作品数(点)	416 428	
合計	2,836	2,782	2,136	0	0			
2	事務事業の名称	文化振興事業					実績・評価	
	所 管 課	生涯学習課					普及事業、育成事業を実施し、市民並びに行政と連携しつつ、文化振興の拠点として、芸術文化の更なる振興が図れた。振興・普及事業として14事業34講演、育成事業として11事業5教室28講演を実施し多様な年齢層で普及、育成が図れた。	
	事 業 概 要	文化振興のための公益財団法人加東文化振興財団への委託						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	751	2,423	1,564			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値(上段:目標、下段:実績)
そ の 他	24,400	22,099	22,443					
合計	25,151	24,522	24,007	0	0			

3	事務事業の名称	伝の助かるた大会					実績・評価
	所 管 課	生涯学習課					ふるさとの貴重な歴史、伝統文化、人々の温かさ、公衆道徳を次代を担う子供たちに継承すべく、グループ参加を呼びかけ61組、169人参加の大会になった。友達のきずなが図れる大会に定着しつつある。
	事 業 概 要	加東伝の助かるたの普及・利活用					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	95	108	121			事業の方向性(H27年度) 継続
	国・県 起 債						評価指標 (H26)
	その 他						指標名 数値 (上段:目標、 下段:実績)
合計	95	108	121	0	0		
4	事務事業の名称	成人学習事業					実績・評価
	所 管 課	生涯学習課					平成26年度から、公民館に来る機会が少ない青年、壮年男女を主な対象者にした料理教室、ギター教室の新たな2講座を開設した。斬新な講座であったこともあり、好評であった。
	事 業 概 要	公民館に来る機会が少ない青年、壮年男女を主な対象者にした新たな講座の実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	0	170	223			事業の方向性(H27年度) 継続
	国・県 起 債						評価指標 (H26)
	その 他		84	115			指標名 数値 (上段:目標、 下段:実績)
合計	0	254	338	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	1	地域文化の継承・発展
	主要施策	(1)	市民文化の創造の促進
	市の取組	②	文化交流の推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	文化交流の推進
取組方針	文化・芸術の発表の場を通じて市民をはじめとした交流を促し、互いに刺激し合うことで創造活動への意欲を高めるなど、文化・芸術を人々の共感を育み活力を向上させる新たな「ちから」として活用していきます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		222	120	143	0	0
財 源 内 訳	一般財源	222	120	143	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		5.6	3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	ギャラリー活用事業(収蔵品展等)					実績・評価	
	所 管 課	生涯学習課					滝野図書館2階 ギャラリー「伝」を活用し、門脇正弘遺作展を開催。8日間で787人来場。	
事 業 概 要	加東市に関わる芸術家又は関係者から寄贈していただいた作品を市民の方々に見ていただく機会を設ける。					多くの市民に見ていただいた上に、寄贈者の想いにも応えられた。		
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続		
一般財源	222	120	143			評価指標 (H26)		
国・県						指標名		
起 債						数値 (上段:目標、下段:実績)		
そ の 他								
合計	222	120	143	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	I	『文化』未来を拓く人を育む 文化のまち
	施 策	1	地域文化の継承・発展
	主要施策	(1)	市民文化の創造の促進
	市の取組	③	文化遺産の保存と活用

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 文化遺産の保存と活用
取組方針	先人の残した貴重な歴史文化遺産の価値や意義を明らかにし、次代に適切に継承していきます。さらに、郷土への愛着や誇りを醸成するために、市民に広く公開するなど、有効に活用していきます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		2,126	3,306	10,123	0	0
財 源 内 訳	一般財源	2,098	3,287	10,093	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	28	19	30	0	0
市民1人あたりコスト（円）		53.5	84	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	歴史民俗資料館管理運営事業					実績・評価	
	所 管 課	生涯学習課					入場者数759人と目標数値からは大幅減になったが、博物館として関西広域連合節電キャンペーン参加による夏休み期間無料開放並びにイベントの開催などで集客に努めたい。	
1	事 業 概 要	地域文化、歴史、伝統など先代が残した文化財を地域で守り活用しながら、次世代に継承する。						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	738	972	1,143			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段: 目標、下段: 実績)
	そ の 他	28	19	30			資料館等への来場者数 (人)	1,662 759
合計	766	991	1,173	0	0			
2	事務事業の名称	図書館主催事業					実績・評価	
	所 管 課	中央図書館					滝野図書館ギャラリー「伝」における資料展示（209名来場）と姫路文学館学芸員甲斐文子氏による記念講演会（82名聴講）により、広く市民に坂本文学を知ってもらうことができた。	
	事 業 概 要	郷土の詩人坂本遼生誕110年にあたり、坂本遼文学を紹介する資料展示及び講演会を実施						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	151	265	144			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標 (H26)	
起 債						指標名	数値 (上段: 目標、下段: 実績)	
そ の 他						来場（聴講）者数 (人)	250 291	
合計	151	265	144	0	0			

3	事務事業の名称	文化財保護対策事業(臨時政策経費)					実績・評価	
	所管課	生涯学習課					道標の転倒・破損物件5件の修理・再建や指定文化財紹介看板設置23件により所在等、市内外の人々に周知できた。また、厚利山王神社本殿改修補助を行い文化財の保護に努めた。	
	事業概要	文化財の収集・整理事業等の実施、無形文化財の保存に対する支援、後継者の育成						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	1,209	2,050	8,806			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値(上段:目標、下段:実績)
	その他							
	合計	1,209	2,050	8,806	0	0		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】	
<p>成人学習事業として、公民館に来る機会が少ない青年、壮年層を対象に、ニーズにあった講座を模索し、料理教室、ギター教室を実施した。料理教室の中華料理では親子13組32人の参加で、就学前から小学生の19人が料理を体験した。フランス料理では募集人数を大きく上回り、講座の追加を行った。ギター弾き語り講座では17人の応募で16歳から77歳までの幅広い年齢層の参加で、練習の成果を秋のフェスティバル会場で発表するなど、市民のニーズに合致した企画であったと分析した。</p> <p>文化財の保護の推進と活用で、市指定文化財の中古瀬「木造増長天立像群」修復作業完了に伴う特別展として「加東の仏像」をギャラリー「伝」で開催し400人の観覧があった。貴重な加東市の歴史文化遺産の保存継承並びに、広く市民に文化遺産を公開する場を提供できた。</p> <p>文化祭については、開催会場が新庁舎周辺に集約でき、秋のフェスティバルと同時開催で市民の会場移動時間、手間が短縮できた。</p>	
【改善策】	
<p>成人学習事業の継続的な事業実施と受講者等のアンケート調査による、新たな講座の開拓を引き続き実施する必要がある。</p> <p>埋蔵文化財の保管については、旧滝野庁舎倉庫等の一時的な活用を計画しているが、資料の活用や適正な長期保護を考えた新たな収蔵庫について、既存施設の有効活用と合わせて検討していく必要がある。</p> <p>また、歴史民俗資料館の入場者数を増やす改善策として、小学生等の社会科見学の機会を増やすなど働きかけるほか、入館料の無料化を検討してまいります。</p>	
1次評価	B

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】	
【改善すべき点】	
2次評価	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.64

政 策	Ⅲ 『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	1 子育て支援の充実
主要施策	(1) 親子の健康づくり

■主要施策の所管

部等の名称	福祉部	市民生活部		
-------	-----	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	健康で安心して子どもを生み育てる環境が整っています。
---------	----------------------------

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	子育て支援の取組に対する満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる地域や家庭での子育て支援の取組について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	78.5	-	-	79.3	-	-	80.0	
目標値達成率				101.5%				A
(結果の分析)	H23年度に比べて、2ポイント増加し、目標達成しているが、今後もさらに満足度が高まるよう子育て支援の充実に努める。							

【指標 2】

指 標	3歳児健診受診率（単位：％）							
指標の考え方	3歳児健康診査を受けた幼児の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	98.2	97.7	97.2	97.4				B
目標値達成率		99.2%	98.4%	98.3%				
(結果の分析)	H25年度に比べ受診率はアップした。引き続き健診未受診者全員の受診勧奨及び状況把握に努める。							

【指標 3】

指 標	育児支援等連絡票による支援件数（単位：件）							
指標の考え方	課題のある妊産婦を早期に把握し、支援した件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	13	14	30	37				A
目標値達成率		107.7%	214.3%	264.3%				
(結果の分析)	H26年度からハイリスク妊婦への支援を強化しており、今後も支援が必要な方に、相談や訪問の件数を増やしていく。							

【指標 4】

指 標	朝食の摂取率（単位：％）							
指標の考え方	アンケートによる朝ごはんを食べる5歳児の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	88.2	86.9	89.7	93.8				A
目標値達成率		97.6%	99.9%	103.5%				
(結果の分析)	毎日朝食を摂取している割合がH25年度に比し、4.1ポイント増加し目標を上回った。引き続き朝食摂取の必要性について園との連携により啓発を強化する。							

【指標 5】

指 標	定期予防接種の接種率（単位：％）							
指標の考え方	感染症予防の充実							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	84.9	60.4	98.6	85.1				B
目標値達成率		70.4%	113.9%	97.3%				
(結果の分析)	H26年度の接種率が低下しているのは、H26.10月から水痘が定期接種となり、接種期間が半年と短かったため、接種機会に恵まれなかったことが主な原因と考えられる。今後も接種勧奨の時期や方法を工夫し、勧奨を強化する。							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 -：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(1)	親子の健康づくり
	市の取組	①	出産・子育て環境の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 出産・子育て環境の充実
取組方針	妊産婦訪問や乳幼児健診により様々な課題がある親子については、関係機関と連携しながら継続して支援するとともに、毎月の子育て何でも相談への参加を勧めたり、専門スタッフによる相談（課題解決）につなげていきます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		32,538	40,452	50,713	0	0
財 源 内 訳	一般財源	32,526	40,439	50,700	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	12	13	13	0	0
市民1人あたりコスト（円）		818.3	1,021	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	妊産婦支援事業					実績・評価	
	所 管 課	健康課					長期による他市町への里帰り、出生後短期間での転出及び医療管理中により、全戸訪問は達成できていないが、未訪問児の全数の状況を把握しており、今後も全数把握に努める。	
	事 業 概 要	母子・父子健康手帳交付と新生児訪問（未熟児訪問）による出産・育児支援						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続	
	一般財源	1,231	1,209	4,381			評価指標 (H26)	
	国・県						指標名	数値(上段:目標、下段:実績)
	起 債						新生児・乳児家庭全戸訪問事業実施率(%)	100.0 96.6
合計	1,231	1,209	4,381	0	0			
2	事務事業の名称	乳幼児健診					実績・評価	
	所 管 課	健康課					個別通知による案内及び未受診児に対しては電話や訪問による状況確認と受診勧奨に努め、全数確認を行った。今後も全数の状況確認を目指す。	
	事 業 概 要	4か月児、1歳6か月児、3歳児健診の実施による病気の早期発見と育児支援						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続	
	一般財源	3,393	3,626	4,049			評価指標 (H26)	
	国・県						指標名	数値(上段:目標、下段:実績)
	起 債						4ヶ月児健診 1歳6ヶ月児健診 3歳児健診 受診率(%)	全て 100 4ヶ月98.6、1歳6ヶ月99.2、3歳97.4
合計	3,393	3,626	4,049	0	0			

3	事務事業の名称	育児教室・相談					実績・評価	
	所管課	健康課					パパママクラス参加数が昨年(29組)に比し増加した。パパママクラスは年4回実施し、合計38組75人の参加があった。今後も教室内容に工夫を加え、参加者数の増加を目指す。	
	事業概要	パパママクラス、10か月児相談、2歳児育児教室、食育教室、子育て何でも相談等の実施						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	1,780	1,987	2,086			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県起債						評価指標 (H26)	
	その他	12	10	13			指標名	数値 (上段: 目標、下段: 実績)
	合計	1,792	1,997	2,099	0	0	パパママクラスの参加数 (組)	39 38
4	事務事業の名称	妊婦健康診査事業					実績・評価	
	所管課	健康課					母子健康手帳交付時に定期受診の重要性を説明し、助成を行うことで100%達成、引き続き妊婦健康診査の確実な受診促進を行う。	
	事業概要	妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るための妊婦健康診査費の助成						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	23,630	24,592	40,184			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県起債						評価指標 (H26)	
	その他						指標名	数値 (上段: 目標、下段: 実績)
	合計	23,630	24,592	40,184	0	0	妊婦健診受診率 (%)	100 100
5	事務事業の名称	不妊治療助成事業					実績・評価	
	所管課	健康課					不妊治療助成者の母子健康手帳交付率は65.7%であり、目標を達成することができた。今後も引き続き助成を継続していく。(平成27年度以降は妊産婦支援事業で実施)	
	事業概要	特定不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するための治療に要する費用の助成						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	2,492	2,949	0			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県起債						評価指標 (H26)	
	その他						指標名	数値 (上段: 目標、下段: 実績)
	合計	2,492	2,949	0	0	0	助成者のうち、母子健康手帳交付率 (%)	50.0 65.7

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(1)	親子の健康づくり
	市の取組	②	生活習慣の確立と食習慣の形成

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	生活習慣の確立と食習慣の形成
取組方針	「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進するとともに、乳幼児から児童・生徒までを対象とした食育や思春期対策を充実し、子どもが健やかに成長できる環境づくりを進めます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		246	329	370	0	0
財 源 内 訳	一般財源	246	329	370	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		6.2	8	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	母子健康づくり事業					実績・評価	
	所 管 課	健康課					平成26年度の参加者は約8割であり、目標は下回ったが、就寝時刻、起床時刻が早くなったことで、目覚めの良い園児が増加する等、生活習慣の改善が見られた。	
(決算額)	事 業 概 要	保育園・幼稚園との連携による「早寝・早起き・朝ごはん運動」等の推進					事業の方向性(H27年度)	
	H25年度	246	288	370			継続	
	H26年度						評価指標 (H26)	
	H27年度						指標名	
	H28年度						数値 (上段:目標、下段:実績)	
	H29年度						早寝・早起き・朝ごはんの参加率 (%)	
合計		246	288	370	0	0	85.0 79.6	

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(1)	親子の健康づくり
	市の取組	③	感染症の予防

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 感染症の予防
取組方針	CATVや広報紙を活用し、正しい知識の普及に努めるとともに、定期予防接種の接種率を向上します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費 (千円)		86,331	87,902	99,651	0	0
財源内訳	一般財源	86,331	87,902	99,651	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト (円)		2,171.2	2,219	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口 (3月31日現在) (人)		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	予防接種事業					実績・評価	
	所 管 課	健康課					H26年10月の年度途中で水痘が定期接種化され、接種率が目標に到達していない。接種率の向上に向け、未接種者への個別通知による勧奨を強化する。	
1	事業概要	伝染病のおそれがある疾病の発生、まん延を予防するために予防接種を行う。					事業の方向性(H27年度)	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	継続	
	一般財源	47,781	79,082	99,651			評価指標 (H26)	
	国・県						指標名	
	起債						数値 (上段: 目標、下段: 実績)	
	その他						ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、麻しん風しん混合等 接種率 (%)	
合計	47,781	79,082	99,651	0	0	87.5 85.1		
2	事務事業の名称	ワクチン接種事業					実績・評価	
	所 管 課	健康課					平成26年度以降は、予防接種事業として実施。	
	事業概要	伝染病のおそれがある疾病の発生、まん延を予防するために予防接種を行う。					事業の方向性(H27年度)	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	継続	
	一般財源	38,550	0	0			評価指標 (H26)	
	国・県						指標名	
起債						数値 (上段: 目標、下段: 実績)		
その他								
合計	38,550	0	0	0	0			

3	事務事業の名称	おたふくかぜ予防事業					実績・評価	
	所管課	健康課					目標接種者数が1,160人に対し、平成26年度接種者数が1,018人であり、約9割を達成している。今後も周知を行い、市民に対して接種機会を提供する。 (平成27年度は、任意予防接種助成事業として実施)	
	事業概要	おたふくかぜを予防するために、接種費用を全額助成						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	0	8,820	0			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県 起債						評価指標 (H26)	
	その他						指標名	数値 (上段:目標、 下段:実績)
	合計	0	8,820	0	0	0	おたふくかぜワクチン接種者数 (人)	1,160 1,018

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】
<p>すべての妊婦が安心して出産を迎え、自信を持って子育てができるよう、妊娠期から切れ目のない支援を充実するとともに、子どもたちが健やかに成長できるよう事業を進めている。</p> <p>妊娠期には、パパママクラスの内容を工夫し、母性・父性の育成に努めるとともに、出産後早期の乳幼児訪問を行い、生まれてくる子どもの全数の状況把握に努めた。</p> <p>乳幼児健診の受診率は約98.4%であり、残りの未受診者に対しても確認を行い全数把握を行っている。</p> <p>発達障害児早期支援事業により新たな対象児の発見ができ、小学校入学に向けて早期に支援が開始できている。</p> <p>さらに、こどもを感染症から守るために、新規におたふくかぜワクチンの予防接種費助成を開始した。</p> <p>一方で、少子化・核家族化・地域のつながりの希薄化など、地域におけるサポート力が弱くなってきている。</p>
【改善策】
<p>地域における妊産婦やその家族への支援が必要なケースについて、サポート体制のさらなる充実を図っていく。</p>

1次評価	A
------	---

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】
【改善すべき点】

2次評価	
------	--

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.66

政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	1	子育て支援の充実
主要施策	(2)	子育て支援サービスの充実

■主要施策の所管

部等の名称	福祉部	市民生活部		
-------	-----	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	子どもや子育てに関する悩みや不安を相談できる環境が整い、地域で安心して子育てすることにより、子どもたちがすくすくと成長しています。
---------	---

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	子育て支援に関わった市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる市民相互の子育て支援に関わった市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	7.4	—	—	11.2	—	—	15.0	C
目標値達成率	—	—	—	62.5%	—	—	—	
（結果の分析）	前回調査時より、「関わったことがある」人の割合が減少している。地域の都市化、人間関係の希薄化によるものと考えられるため、今後は、子育てに関する制度等の広報等による周知が必要。							

【指標 2】

指 標	子育て支援の取組に協力する市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる子育て支援の取組に協力する市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	31.0	—	—	35.5	—	—	40.0	C
目標値達成率	—	—	—	76.9%	—	—	—	
（結果の分析）	前回調査時より、「子育て支援の取組に協力する市民の割合」が減少している。地域の都市化、人間関係の希薄化によるものと考えられるため、今後は、子育てに関する制度等の周知が必要。							

【指標 3】

指 標	認定こども園設置数（単位：園）							
指標の考え方	幼保一元化の推進							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	—	0	0	0	1	1	3 (1)	—
目標値達成率	—	—	—	—	—	—	—	
（結果の分析）	—							

【指標 4】

指 標	児童館来館者数（単位：人）							
指標の考え方	子育てで児童館を活用する親子の人数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	64,612	63,401	69,064	71,177				A
目標値達成率	—	96.8%	104.0%	105.8%	—	—	—	
（結果の分析）	来館者数は増えているが、保育所の入所年齢が低くなったため、親子活動登録者は減少傾向にある。							

【指標 5】

指 標	ファミリーサポート会員数（単位：人）							
指標の考え方	ファミリーサポート協力会員数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	99 (251)	100 (273)	105 (286)	105 (279)	108 (331)	111 (351)	115 (371)	B
目標値達成率	—	-(100.7%)	-(98.3%)	-(89.7%)	—	—	—	
（結果の分析）	平成26年度は、会員の加入促進よりも、協力会員の質の向上に取り組んだため、会員数は横ばい状態となった。							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(2)	子育て支援サービスの充実
	市の取組	①	子育て関係施設の基盤整備

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	①	子育て関係施設の基盤整備
取組方針	保育所やアフタースクール、児童館を、安全かつ快適に利用できる施設として適正に管理運営するとともに、共働き家庭やひとり親の就労を支援するなど、より一層の利便性向上を目指して、機能やサービスを充実していきます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		932,681	1,151,252	1,317,750	0	0
財源内訳	一般財源	229,632	369,770	496,260	0	0
	国・県	357,573	438,195	587,679	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	その他	345,476	343,287	233,811	0	0
市民1人あたりコスト（円）		23,457.2	29,063	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	放課後児童健全育成事業					実績・評価	
	所 管 課	子育て支援課					平成25年度から受け入れを小学校4年生までに拡大し、保護者の就労支援を実施	
	事 業 概 要	保護者の仕事と子育てを両立するために、放課後に児童を安全に預かる事業の実施					4年生の月平均利用人数22人	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続
	一般財源	11,821	12,297	18,135				
	国・県	18,597	18,684	20,912			評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	
その他	19,911	22,857	24,705			数値 (上段: 目標、下段: 実績)		
合計	50,329	53,838	63,752	0	0			
2	事務事業の名称	公立保育所運営事業					実績・評価	
	所 管 課	子育て支援課					公立4園で、特別保育（延長・一時預かり・障害児保育）、また、保育園で休日保育を実施した。	
	事 業 概 要	公立4保育所での通常保育及び特別保育の実施					休日保育利用人数 延べ5人/年	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続
	一般財源	15,934	13,785	19,667				
	国・県	2,273	7,383	6,383			評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	
その他	14,886	13,154	12,122			数値 (上段: 目標、下段: 実績)		
合計	33,093	34,322	38,172	0	0			

3	事務事業の名称		児童館運営事業				実績・評価	
	所管課		子育て支援課				広報かとうやかとう子育てねっとを活用し、情報発信に努めた。結果、入館目標値を達成した。	
	事業概要		0歳児から就学前の子どもと保護者を対象とした親子活動の実施と児童館の管理運営					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続	
	一般財源	3,161	6,391	8,697				
	国・県	3,787	63				評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他						来館者数(人)	67,306
合計	6,948	6,454	8,697	0	0	71,177		
4	事務事業の名称		保育所運営事業				実績・評価	
	所管課		子育て支援課				障害児等保育事業の補助金の支給基準の見直しを行い、定員に対しての支給とした。	
	事業概要		私立保育所への運営補助と、特別保育への補助等					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続	
	一般財源	194,641	276,850	310,547				
	国・県	328,299	344,528	381,108			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	310,679	307,276	196,984				
合計	833,619	928,654	888,639	0	0			
5	事務事業の名称		私立保育所施設整備事業				実績・評価	
	所管課		子育て支援課				認定こども園移行に伴う高岡育児園改築工事への補助を行った。	
	事業概要		安心こども基金における保育所緊急整備事業、市単独補助による私立保育所施設の整備					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続	
	一般財源	4,075	60,447	139,214				
	国・県	4,617	67,537	179,276			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他							
合計	8,692	127,984	318,490	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(2)	子育て支援サービスの充実
	市の取組	②	多様な子育て支援サービス

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 多様な子育て支援サービス
取組方針	児童館でのひろば事業やファミリーサポートセンターによる相互援助活動、家庭での育児・家事の支援、育児不安の解消、子どもの養育困難時の短期施設入所など、子育てに関する様々な支援を実施します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		739,787	788,616	762,173	0	0
財 源 内 訳	一般財源	133,738	125,640	122,888	0	0
	国・県	605,963	662,883	639,163	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	86	93	122	0	0
市民1人あたりコスト（円）		18,605.8	19,908	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	児童福祉事業					実績・評価			
	所 管 課	子育て支援課					家庭児童相談室において、電話及び面接、訪問等により相談に応じた支援を行った。			
	事 業 概 要	家庭児童相談室								
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続		
	一般財源	489	507	265			評価指標 (H26)	指標名 数値(上段:目標、下段:実績)		
	国・県								支援実世帯数(世帯)	110
	起 債									136
合計	489	507	265	0	0					
2	事務事業の名称	児童福祉事業					実績・評価			
	所 管 課	子育て支援課					年5回開催し、加東市の子ども・子育て支援について協議した。			
	事 業 概 要	子ども・子育て会議の運営								
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続		
	一般財源		384	392			評価指標 (H26)	指標名 数値(上段:目標、下段:実績)		
	国・県									
	起 債									
合計	0	384	392	0	0					

3	事務事業の名称	児童福祉事業					実績・評価	
	所管課	子育て支援課					子育てに関する各種情報をメール配信することで、情報の周知や参加者数の増加に資した。今後はより幅広い分野の情報提供に努める。	
	事業概要	子育て連絡ネットワーク事業						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	789	794	972			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標 (H26)	
	起債 その他						指標名	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
合計	789	794	972	0	0	記事更新回数 (回)	120 167	
4	事務事業の名称	児童福祉事業					実績・評価	
	所管課	子育て支援課					ショートステイの利用は延べ0日、児童入所施設の利用は延べ11か月であった。次年度以降も育児支援等に努める。	
	事業概要	子育て短期支援事業						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	1,322	865	2,386			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	2,019	2,798	6,605			評価指標 (H26)	
	起債 その他	0	4	26			指標名	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
合計	3,341	3,667	9,017	0	0	児童入所施設利用延べ 月数 (月)	12 11	
5	事務事業の名称	児童福祉事業 (誕生祝品支給事業)					実績・評価	
	所管課	子育て支援課					H26年度から新規事業として実施。H26年度出生数336人のうち260人からの申請があり、祝品を支給した。次年度以降支給率が向上するよう努める。	
	事業概要	出産を奨励し、次代を担う子どもの出産を祝福し、出産祝い品を支給						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	0	769	1,062			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標 (H26)	
	起債 その他						指標名	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
合計	0	769	1,062	0	0	支給率 (%)	80.0 77.4	
6	事務事業の名称	ファミリーサポートセンター事業					実績・評価	
	所管課	子育て支援課					利用件数は、H26年度1,010件でここ数年利用件数は1,000件前後で推移している。現在利用の需要に対応できているため協力会員の質の向上に努める。	
	事業概要	育児に支援が必要な者と、支援できる者との相互援助活動の支援						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	3,010	1,670	1,819			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	1,000	1,332	1,332			評価指標 (H26)	
	起債 その他						指標名	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
合計	4,010	3,002	3,151	0	0	ファミリーサポート会 員数 (人)	311 279	
7	事務事業の名称	児童手当事業					実績・評価	
	所管課	子育て支援課					年間で述べ61,225人に児童手当を支給した。	
	事業概要	0歳から中学校修了前までの児童を対象にした児童手当の支給						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	112,337	107,172	105,166			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	585,822	577,908	582,280			評価指標 (H26)	
	起債 その他						指標名	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
合計	698,159	685,080	687,446	0	0	児童手当・特例給付現 況届提出率 (%)	100 99.9	

8	事務事業の名称	子育て支援センターホスピタリティ空間創造事業					実績・評価	
	所管課	子育て支援課					プラネタリウムの実施（1日5回投影・168名参加）	
	事業概要	親同士の交流や、家族間の交流促進。リラックスした時間を過ごせる空間の創造と提供					夏の恒例事業となり、参加者からの評価が高いため、次年度も継続実施予定	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	235	310	187			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標（H26）	
	起債						指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
	その他	86	89	96			参加者数（人）	200
合計	321	399	283	0	0		168	
9	事務事業の名称	つどいの広場事業					実績・評価	
	所管課	子育て支援課					年間参加者数 述べ8,952人	
	事業概要	子育て中の親子に、学習・交流・集いの場の提供を行う。						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	14,314	10,935	10,639			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	13,260	16,816	17,736			評価指標（H26）	
	起債						指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
	その他							
合計	27,574	27,751	28,375	0	0			
10	事務事業の名称	保育所運営事業					実績・評価	
	所管課	子育て支援課					対象者全員に支給を行った。	
	事業概要	多子世帯への保育料補助						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	18	0	0			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	3,862	3,790	3,810			評価指標（H26）	
	起債						指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
	その他						支給率（%）	100
合計	3,880	3,790	3,810	0	0		100	
11	事務事業の名称	子育て世帯臨時特例給付金給付事業					実績・評価	
	所管課	子育て支援課					国の補助金により実施し、対象者2,918人（児童数5,128人）に支給した。H27年度も国の補助金により支給要件を見直して実施する。	
	事業概要	消費税率引上げに伴う対象児童を養育する親（世帯）に対して給付金を支給						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	0	0	0			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県		60,239	27,400			評価指標（H26）	
	起債		0	0			指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
	その他		0	0			支給率（%）	95.0
合計	0	60,239	27,400	0	0		96.3	
12	事務事業の名称	子ども・子育て支援事業計画策定事業					実績・評価	
	所管課	子育て支援課					平成26年度において、計画を策定した。	
	事業概要	子ども・子育て支援事業計画の策定						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	1,224	2,234	0			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標（H26）	
	起債						指標名	数値（上段：目標、下段：実績）
	その他							
合計	1,224	2,234	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(2)	子育て支援サービスの充実
	市の取組	③	就学前教育の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 就学前教育の充実
取組方針	子育て担当部署や教育委員会、保育所、幼稚園など関係機関が共通認識を持って、幼保一元化を基本とした就学前教育の充実に取り組みます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		0	0	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		0.0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称		実績・評価				
	所 管 課	児童福祉事業	実績・評価				
事 業 概 要	子育て支援課					平成27年度中に私立保育所2園がこども園に移行。	
(決算額)	就学前教育の充実(認定こども園への移行)					平成28年度には、公立保育所3園、公立幼稚園1園、私立保育所3園が移行予定。	
一般財源	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続	
国・県	0	0	0			評価指標 (H26)	
起 債							指標名
そ の 他						数値 (上段:目標、下段:実績)	
合計	0	0	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(2)	子育て支援サービスの充実
	市の取組	④	子ども医療の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	④ 子ども医療の充実
取組方針	子どもの医療費の無料化とともに、地域の子ども医療を守る観点から、時間外の緊急性のない安易な医療機関の受診（以下「コンビニ受診」とします。）抑制などを啓蒙します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		187,434	180,788	210,759	0	0
財源内訳	一般財源	128,224	123,936	150,998	0	0
	国・県	59,193	56,726	59,761	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	17	126	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		4,714.0	4,564	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

No.	事務事業の名称		実績・評価				
	乳幼児等医療費給付事業		実績・評価				
1	所 管 課	保険・医療課	乳幼児等に係る医療費の全額助成をすることで、乳幼児の福祉の増進を図った。コンビニ受診及び軽症受診の抑制の啓発を行った。 対象人数 3,350人				
	事 業 概 要	乳幼児等に対する医療費の助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続
	一般財源	77,407	73,657	86,375			
	国・県	42,339	38,543	40,495			評価指標 (H26) 指標名 数値 (上段:目標、下段:実績)
	起債						
	その他	6	86				
合計	119,752	112,286	126,870	0	0		
2	事務事業の名称		実績・評価				
	こども医療費給付事業		実績・評価				
	所 管 課	保険・医療課	こどもに係る医療費の全額助成をすることで、こどもの福祉の増進を図った。コンビニ受診及び軽症受診の抑制の啓発を行った。 対象人数 2,064人				
	事 業 概 要	こどもに対する医療費の助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続
	一般財源	41,108	42,067	52,878			
	国・県	8,617	11,947	11,976			評価指標 (H26) 指標名 数値 (上段:目標、下段:実績)
起債							
その他		16					
合計	49,725	54,030	64,854	0	0		

3	事務事業の名称		母子家庭等医療費給付事業				実績・評価	
	所 管 課		保険・医療課				母子家庭、父子家庭及び遺児に係る医療費の一部を給付することにより、母子家庭等の自立促進施策の充実及びその福祉の増進を図った。 対象人数 269人	
	事 業 概 要		母子家庭等に対する医療費の助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続
	一般財源	9,258	8,271	10,493				
	国・県	6,348	4,967	5,040			評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段:目標、 下段:実績)
	その他	11	24					
合計	15,617	13,262	15,533	0	0			
4	事務事業の名称		未熟児養育医療事業				実績・評価	
	所 管 課		保険・医療課				国1/2、県1/4、市1/4で実施。 実績 助成未熟児数5人であった。 (補助金は次年度精算になる。)	
	事 業 概 要		入院養育が必要な未熟児にかかる医療費の一部負担金の全額助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続
	一般財源	451	-59	1,252				
	国・県	1,889	1,269	2,250			評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段:目標、 下段:実績)
	その他							
合計	2,340	1,210	3,502	0	0			

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】
<p>子ども子育て支援新制度に基づき、保護者が働いている、働いていないに関わらず、全ての子どもが等しく幼児期の学校教育と保育を受けられるよう、認定子ども園への移行を推進している中、平成27年度には私立2保育園が移行された。平成28年度には私立3保育園、鴨川保育園を除く公立3保育園と1幼稚園が移行予定であるが、東条地域に認定子ども園への移行予定の保育所がないのが課題である。</p> <p>また、特別保育事業として「延長保育事業」「休日保育事業」「一時預かり事業」「病後児保育」を実施している。平成27年12月からは「病児保育」も実施予定である。</p> <p>そのほか、児童館では各種の事業を展開し、利用者の増を図り、アフタースクールでは、平成25年度から4年生までを受け入れ、平成27年度から6年生までの受け入れを決定した。</p> <p>平成26年度開始の「誕生祝品支給事業」については、77.4%の支給であった。次年度は支給率アップに努める。</p>
【改善策】
<p>認定子ども園への移行に向け、東条地域の保育所とも調整を図っていく。</p>

1次評価	A
------	---

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】
【改善すべき点】

2次評価	
------	--

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P. 68

政 策	Ⅲ 『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	1 子育て支援の充実
主要施策	(3) 要支援児童対策の充実

■主要施策の所管

部等の名称	福祉部	市民生活部		
-------	-----	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	子ども一人ひとりに対して適切に関わり、支援できる環境を整えることにより、全ての子どもが健やかでいきいきと成長しています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	保育所で問題行動のある児童の割合（単位：％）							
指標の考え方	保育所等で問題行動のある児童の割合 障害児等保育事業を強化・充実し、問題行動を改善することによる対象児童数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 3.03	H25年度 4.14	H26年度 4.14	H27年度 13.60(4.14)	H28年度 13.60(4.14)	H29年度 13.60 (4.14→3.03)	評価
数 値	3.03	4.14	7.30	13.60				D
目標値達成率		73.2%	56.7%	30.4%				
(結果の分析)	前年度まで開催していた加東市障害児等保育ケース会議の廃止により、保育所等から申請のあった全児童数からの絞り込みをせずに算出しているため、割合として高くなっている。							

【指標 2】

指 標	要支援児童のサポートファイルの作成数（単位：件）							
指標の考え方	何らかの支援が必要な児に対して幼児期から必要な支援を継続して実施するためのサポートファイルの作成実績							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 175	H25年度 191	H26年度 208	H27年度 225	H28年度 241	H29年度 258	評価
数 値	158	198	217	234				A
目標値達成率		113.1%	113.6%	112.5%				
(結果の分析)	保護者の理解と関係機関の協力もあり増となっている。また関係機関への周知活動も継続して実施している。							

【指標 3】

指 標	乳幼児発達相談利用者数（単位：人）							
指標の考え方	乳幼児発達相談の利用者数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 229	H25年度 229	H26年度 230	H27年度 230	H28年度 230	H29年度 230	評価
数 値	229	226	221	234				A
目標値達成率		98.7%	96.5%	101.7%				
(結果の分析)	発達相談利用数はH23年度とほぼ同等であり、医師等により専門の相談を行っている。今後も必要とする対象者が利用しやすいよう丁寧に支援をしていく。							

【指標 4】

指 標	要保護児童数（単位：人）							
指標の考え方	児童虐待防止啓発・要保護児童対策地域協議会の活動による要保護児童数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 246	H25年度 246	H26年度 246	H27年度 246	H28年度 246	H29年度 246	評価
数 値	246	264	229	216				B
目標値達成率		107.3%	93.1%	87.8%				
(結果の分析)	虐待や虐待の疑いのあるものの相談件数は増加しているが、育児相談も含めた子育て支援全般の相談が減ったため減少している。							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 -：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(3)	要支援児童対策の充実
	市の取組	①	障害の発見、早期支援

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 障害の発見、早期支援
取組方針	発達に課題のある子どもと保護者に対し、育児の不安や困難感を軽減できるよう相談支援するほか、療育事業により小集団を通して子ども自身が持つ成長の芽を引き出します。また、3歳児健診以降も発達障害児早期支援事業を通して保健、医療、福祉、保育、教育が連携し、切れ目なく支援します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		2,141	2,105	2,271	0	0
財 源 内 訳	一般財源	2,131	2,092	2,257	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	10	13	14	0	0
市民1人あたりコスト（円）		53.8	53	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

	事務事業の名称		実績・評価				
	1	発達支援事業	健康課	発達障害の早期発見及び早期支援について、発達相談を通して支援の充実を図った。			
	事業概要	精神・運動面等の発達に遅れがみられる幼児について専門家による診察、相談、療育教室の実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	1,842	1,864	1,998			事業の方向性(H27年度) 継続
	国・県						評価指標 (H26)
	起 債						指標名 数値(上段:目標、下段:実績)
	そ の 他	10	13	14			発達相談受診数(人) 230
	合計	1,852	1,877	2,012	0	0	234
2	発達障害児早期支援事業	健康課	平成26年度のアンケート実施者は370人中366人(98.9%)であった。未回収4人については状況確認に努め全数への支援を行った。				
	事業概要	5歳児を対象に、発達に課題のある幼児が就学期へスムーズに移行できるよう支援					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	289	228	259			事業の方向性(H27年度) 継続
	国・県						評価指標 (H26)
	起 債						指標名 数値(上段:目標、下段:実績)
	そ の 他						発達相談のアンケート回収率(%) 100
	合計	289	228	259	0	0	98.9

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(3)	要支援児童対策の充実
	市の取組	②	要支援児童施策の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 要支援児童施策の充実
取組方針	サポートファイルを活用し、子ども発達支援連絡会などを通じた関係機関との連携により、幼児期から必要な支援を継続して実施します。また、兵庫教育大学との連携により全ての保育所で特別支援保育コーディネーターを育成し、保育士の技能と保育環境を向上し、全ての園児に対応していきます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		210	90	225	0	0
財 源 内 訳	一般財源	151	72	225	0	0
	国・県	59	18	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		5.3	2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称		保育所運営事業				実績・評価	
		所 管 課	子育て支援課				北はりま特別支援学校と連携し、年2回保育所巡回相談、個別相談（随時）を実施。コーディネーター研修3回、初任者研修2回、全体研修1回実施。主任保育士会を中心に今後も取り組んでいき、保育士全体のスキルアップに努める。	
	事 業 概 要	障害児等保育						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	151	72	225			事業の方向性(H27年度) 継続	
	国・県	59	18	0			評価指標 (H26)	
	起 債						指標名 数値 (上段:目標、下段:実績)	
	そ の 他						保育所等で問題行動のある児童の割合 (%) 4.14	
	合計	210	90	225	0	0	13.60	

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	1	子育て支援の充実
	主要施策	(3)	要支援児童対策の充実
	市の取組	③	児童虐待の防止

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 児童虐待の防止
取組方針	要保護児童対策地域協議会により医療、保健、福祉、教育、警察、民間団体等の関係機関が連携し、虐待の可能性がある児童への対応や適切な保護・支援について協議・実践することで、児童を守ります。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		2,661	1,686	2,337	0	0
財 源 内 訳	一般財源	2,661	1,122	2,087	0	0
	国・県	0	564	250	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		66.9	43	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	児童虐待予防事業					実績・評価	
	所 管 課	子育て支援課					生後4か月までの乳児の状況確認（健康課と当課で共同）。主任児童委員の同行訪問により、地域での見守りに繋げている。児童虐待キャンペーン4回実施、講演会を4回開催	
	事 業 概 要	こんにちは赤ちゃん事業などによる支援の必要な家庭の早期発見、児童虐待の未然防止						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	914	582	1,049			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県		564	250			評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
そ の 他						状況確認率 (%)	100	
合計	914	1,146	1,299	0	0		96.6	
2	事務事業の名称	児童虐待予防事業					実績・評価	
	所 管 課	子育て支援課					参加者9名全員が、プログラムを終了。参加率93%	
	事 業 概 要	MY TREEペアレンツ・プログラム事業の実践による児童虐待の防止						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	1,372	540	1,038			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県		0	0			評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
そ の 他						参加率 (%)	95	
合計	1,372	540	1,038	0	0		93	

3	事務事業の名称		子育てメッセージ集作成事業				実績・評価	
	所管課		子育て支援課				26年度は事業未実施。よい反響があったので再度実施するか検討する。	
	事業概要		子育て中の想いや家庭を応援するメッセージを集め文集を作成し児童虐待防止の啓発に活用					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	375	0	0			事業の方向性(H27年度)	事業終了
	国・県						評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
	その他							
	合計	375	0	0	0	0		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】
<p>長年の課題である要保護児童対策地域協議会の構成機関の連携が強化できつつある。現在、3か月に1回実務者会議を開催し、加東市の要支援家庭の情報を共有しているが、各機関がもう少し自発的に支援家庭に対する役割を担うように進めていくことが課題である。また、一昨年より実施している「MY TREEペアレンツプログラム事業では、虐待をしてしまう親が自分の力で問題行動を終止し、子どもとの関係を修復することを目標に取り組んでいる。平成26年度は9名が参加され、成果があった。</p> <p>障害児等保育事業については、市内の全保育所等に1人ずつ特別支援保育コーディネーターを養成したことにより、保育士全体のスキルアップにつながっている。</p> <p>発達障害児早期支援事業では、新たな対象児の発見ができ、早期に支援が開始できている。</p>
【改善策】
<p>課題にあげた関係機関の積極的な関わりを促進するため、要保護児童対策地域協議会についての理解を深めていただくよう努める。</p> <p>また、引き続き、保育士全体のスキルアップが図れるよう集中的に指導する等、関り方を工夫していく。</p>

1次評価	B
------	---

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】
【改善すべき点】

2次評価	
------	--

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.70

政 策	Ⅲ 『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	2 健康づくりの充実
主要施策	(1) 健康増進の推進

■主要施策の所管

部等の名称	市民生活部			
-------	-------	--	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	市民一人ひとりが健康への意識を高め、生涯を通して主体的に健康づくりに取り組み、明るく元気に暮らしています。
---------	---

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	健康増進の推進などの取組に対する満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる健康増進の推進や生活習慣病予防の充実について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	84.6	—	—	84.8	—	—	85.0	B
目標値達成率				98.6%				
（結果の分析）	「満足」と答える率は、50歳代が少ない。ライフステージに応じた多様な健康増進施策の推進を図ることで、事業への参加率と満足度の向上を図る必要がある。							

【指標 2】

指 標	生活習慣に気をつける市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる健康のために生活習慣に気をつける（意識している）市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	82.1	—	—	83.5	—	—	85.0	B
目標値達成率				98.1%				
（結果の分析）	「意識している」との答えは、20歳から40歳代が少ないため、働き盛りの世代への健診受診行動の推進や健診結果を基にした個別支援を充実する必要がある。							

【指標 3】

指 標	歯周疾患検診及び歯科相談件数（単位：件）							
指標の考え方	歯周疾患検診及び歯科相談の件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	402	468	535	601	667	734	800	A
目標値達成率		152.6%	106.5%	105.7%				
（結果の分析）	子どもを含め親子の受診の機会を提供し、今後も広報紙、市ホームページ、文字放送等を利用し受診の勧奨を行う。							

【指標 4】

指 標	20歳以上の特定基本健康診査受診者数（単位：人）							
指標の考え方	20歳以上の特定基本健康診査の受診者数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	4,002	4,035	4,068	4,101	4,134	4,167	4,200	B
目標値達成率		95.4%	92.9%	93.2%				
（結果の分析）	H26年度受診者数がやや増加した。ファミリーデーの開催により、受診しやすい環境に努めるとともに、ケーブルテレビ等での啓発や、健康教室等開催時に、参加者へ受診の勧奨を行う。							

【指標 5】

指 標	サンサンチャレンジ達成率（単位：％）							
指標の考え方	サンサンチャレンジ初回参加者の3か月で3kg減量の達成率							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	24.8	26.5	28.2	29.9	26.0(31.6)	27.0(33.3)	28.0(35.0)	B
目標値達成率		65.3%	85.5%	83.6%				
（結果の分析）	H26年度達成率はやや増加している。未達成者については、継続参加を促し、引き続き支援を行う。また、今後は初回参加者の個別支援を充実させる。							

<評価区分> A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	2	健康づくりの充実
	主要施策	(1)	健康増進の推進
	市の取組	①	体の健康づくりの推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 体の健康づくりの推進
取組方針	健康づくりについて気軽に学び、実践できる機会を設けるなど、市民一人ひとりの主体的な健康づくりを応援します。また、健康で豊かな生活の実現には食習慣や歯の健康づくりが大切であることから、「食」に関する知識や健康的な食生活、正しい口腔ケアなどについての普及・啓発を充実します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		1,145	1,071	683	0	0
財 源 内 訳	一般財源	1,145	1,071	683	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		28.8	27	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称		保健衛生事務				実績・評価	
		所 管 課	健康課				健康増進計画(H27~H31) 策定のため平成25年度のアンケート結果等を踏まえて評価し、行動計画目標を立て完成した。	
	事 業 概 要		健康増進計画(H27~H31)の策定					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	1,145	1,071	683			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標(H26)	
	起 債						指標名	数値(上段:目標、 下段:実績)
	そ の 他							
	合計	1,145	1,071	683	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	2	健康づくりの充実
	主要施策	(1)	健康増進の推進
	市の取組	②	心の健康づくりの推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	心の健康づくりの推進
取組方針	こころの健康づくりネットワーク会議などにより各種団体との連携を強化し、心の健康づくりに関する啓発や気軽に相談できる体制整備など、ライフステージに応じた支援を充実します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		763	956	699	0	0
財源内訳	一般財源	63	5	499	0	0
	国・県	700	951	200	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		19.2	24	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	自殺予防対策事業					実績・評価	
	所 管 課	健康課					平成23～25年度の自殺率は、兵庫県下で8番目に高い。中でも壮年期男性の自殺率が高い事が課題であり、関係機関を対象にゲートキーパー（門番）研修を行うなど、新たな取組を進めた。	
事 業 概 要	こころの健康講演会やこころの体温計等による心の健康づくりの推進							
(決算額)		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
一般財源	63	5	499			事業の方向性(H27年度)	継続	
国・県	700	951	200			評価指標 (H26)		
起債						指標名	数値(上段:目標、下段:実績)	
その他						自殺率(3年毎)(%)	24.8	
合計	763	956	699	0	0		28.3	

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	2	健康づくりの充実
	主要施策	(1)	健康増進の推進
	市の取組	③	感染症の予防

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 感染症の予防
取組方針	CATVや広報紙を活用し、正しい知識を普及するとともに、各種の予防接種の接種率を向上し、感染症を予防します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		21,772	41,911	43,702	0	0
財 源 内 訳	一般財源	21,752	41,791	41,507	0	0
	国・県	0	0	2,195	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	20	120	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		547.6	1,058	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	高齢者インフルエンザ事業					実績・評価	
	所 管 課	健康課					インフルエンザ接種率は、H25年度64.7%に比し、H26年度は65.2%で、前年度より微増となった。今後も引き続き広報紙や文字放送等を通じて啓発を行っていく。	
事 業 概 要	高齢者の季節性インフルエンザの予防のための接種費用の全額助成							
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続	
一般財源	21,709	23,158	27,950			評価指標 (H26)	指標名 数値 (上段:目標、 下段:実績)	
国・県								
起 債								
そ の 他								
合計	21,709	23,158	27,950	0	0	インフルエンザ接種率 (%)	69.6 65.2	
2	事務事業の名称	肺炎球菌予防事業					実績・評価	
	所 管 課	健康課					平成26年10月から高齢者肺炎球菌が定期接種となった。定期接種者数は1,177人(55.7%)であり、今後も接種の啓発を強化する。	
事 業 概 要	65歳以上の5歳刻み及び内部障害の身体障害者手帳保持者に、肺炎球菌ワクチンの接種費を全額助成							
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続	
一般財源	43	10,254	12,664			評価指標 (H26)	指標名 数値 (上段:目標、 下段:実績)	
国・県								
起 債								
そ の 他	20	92						
合計	63	10,346	12,664	0	0	肺炎球菌定期接種者接種率 (%)	61.5 55.7	

3	事務事業の名称	パンデミック対策事業					実績・評価	
	所管課	健康課					風しん単独助成者数は13人、麻しん風しん混合助成者数は91人。今後も妊婦への感染拡大を防止するため、広報等で啓発する。	
	事業概要	新型インフルエンザ予防対策及び風しん予防のために、接種費用を一部助成						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	0	1,378	893			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県			2,195			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段：目標、 下段：実績)
	その他						風しん又は麻しん風しん混合ワクチン助成者数 (人)	572
	合計	0	1,378	3,088	0	0		104

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	2	健康づくりの充実
	主要施策	(1)	健康増進の推進
	市の取組	④	健康診査の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	④ 健康診査の充実
取組方針	特定健診受診者の健診費用の軽減や、各種無料クーポン検診により個人負担を軽減します。また、個別健診の実施により健診機会を充実し、受診者の満足度を高めていきます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		44,229	49,673	54,244	0	0
財 源 内 訳	一般財源	32,964	38,499	40,166	0	0
	国・県	7,092	7,316	8,410	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	4,173	3,858	5,668	0	0
市民1人あたりコスト（円）		1,112.4	1,254	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	基本健診・総合管理					実績・評価	
	所 管 課	健康課					特定基本健診の受診数は、前年に比べやや増加した。今後、乳幼児健診でのPRやケーブルテレビ情報BOX等を通じ、受診勧奨のPRを行い啓発を図る。	
	事 業 概 要	特定（基本）健康診査、慢性腎臓病予防の検査と貧血検査の追加実施など					事業の方向性(H27年度)	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		継続
	一般財源	6,967	7,213	8,608				評価指標（H26）
	国・県	22	19	22				
	起 債							特定基本健診受診者数
そ の 他	1,132	1,079	1,364				4,101	
合計	8,121	8,311	9,994	0	0		3,824	
2	事務事業の名称	健康診査事業					実績・評価	
	所 管 課	健康課					歯周疾患検診は子どもの検診を可能とし、H25年度に比し受診数がやや増加した。今後も新規受診者の増加に向けて啓発を強化する。	
	事 業 概 要	肝炎ウイルス検診・歯周疾患検診・骨粗しょう症検診の実施					事業の方向性(H27年度)	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		継続
	一般財源	3,430	3,563	4,544				評価指標（H26）
	国・県	4,362	3,759	4,347				
	起 債							歯周疾患検診受診者数
そ の 他	181	150	384				601	
合計	7,973	7,472	9,275	0	0		635	

3	事務事業の名称	がん検診事業					実績・評価	
	所管課	健康課					大腸がん検診受診者数は平成25年度に比し、やや増加し、2,665人であった。本市のがん死亡原因では、男女ともに直腸がんが高いという健康課題があり、特に大腸がん検診受診率アップに取り組んだ。	
	事業概要	胃がん・肺がん・大腸がん・前立腺がんの集団検診の実施						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続	
	一般財源	11,731	16,152	14,712			評価指標 (H26)	
	国・県起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	1,212	1,148	1,420			大腸がん検診受診者数 (人)	2,711 2,665
合計	12,943	17,300	16,132	0	0			
4	事務事業の名称	女性のがん検診事業					実績・評価	
	所管課	健康課					子宮頸がん検診は20歳代から受診を推奨しているが、若い世代の受診率が低いため、若い世代の受診率向上に努める。	
	事業概要	乳がん(40歳以上)及び子宮頸がん検診(20歳以上)を集団と個別で実施						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続	
	一般財源	5,714	5,850	8,196			評価指標 (H26)	
	国・県起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	1,648	1,481	2,500			子宮頸がん検診受診者数 (人)	544 471
合計	7,362	7,331	10,696	0	0			
5	事務事業の名称	がん検診推進事業					実績・評価	
	所管課	健康課					無料クーポン券の配布により受診率向上を目指しているが、乳がん検診の受診数が前年度(408人)に比し、下がっているため、今後も受診率向上に努める。	
	事業概要	特定年齢を対象に乳がん、子宮頸がん、大腸がん検診の無料クーポン券と検診手帳の配布						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続	
	一般財源	5,122	5,721	4,106			評価指標 (H26)	
	国・県起債	2,708	3,538	4,041			指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他						乳がん検診受診者数 (人)	416 404
合計	7,830	9,259	8,147	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	2	健康づくりの充実
	主要施策	(1)	健康増進の推進
	市の取組	⑤	生活習慣病予防の推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	⑤	生活習慣病予防の推進
取組方針	数多くの参加者を得て、集団で生活習慣病予防に取り組める機会を充実するとともに、健康づくりを推進するリーダーを育成し、予防の相乗効果を創出します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		1,438	1,329	1,336	0	0
財 源 内 訳	一般財源	1,040	1,029	1,004	0	0
	国・県	383	287	302	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	15	13	30	0	0
市民1人あたりコスト（円）		36.2	34	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	サンサンチャレンジ事業					実績・評価	
	所 管 課	健康課					達成率はやや増加、サンサン協賛店舗数は、微増。新規参加者へのフォローを工夫し、目標達成に向けて支援の充実を図る。	
事 業 概 要	生活習慣病予防と健康増進を目指した3か月で3kgやせる市民運動の実施					事業の方向性(H27年度) 継続		
(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標 (H26)		
一般財源	1,040	1,029	1,004			指標名		
国・県	383	287	302			数値 (上段：目標、下段：実績)		
起 債						達成率29.9、協賛店数70		
そ の 他	15	13	30			達成率25.0、協賛店数70		
合計	1,438	1,329	1,336	0	0	新規参加者達成率(%)、サンサン協賛店数(店)		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】
<p>健康増進計画「健康・笑顔・まちプラン」（H27～H31）が完成した。 今後、全ての市民が生涯を通じた健康づくりを主体的に進め、いきいきと笑顔で過ごせるまちづくりを目指し、推進していく。 平成26年度は、健康診査の充実や受診率アップに取り組み、様々な機会を通して、心の健康づくり、感染症予防等を推進してきた。 今後も、市民の主体的な健康づくりを推進しながら、検診や教室等に工夫を凝らし実施する。 若い世代や働き盛り世代の検診受診や教室参加が課題である。</p>
【改善策】
<p>ライフステージに応じた多様な健康増進施策の推進並びに関係機関等とのネットワークを図ることで、若い世代や働き盛り世代の健康づくりの意識を高め、市民一人ひとりが主体となって健康づくりに取り組むことで、市民の生活習慣病予防や健康増進を図っていく。</p>

1次評価	B
------	---

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】
【改善すべき点】

--	--

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.72

政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がられあう やさしいまち
施 策	3	高齢者保健福祉の充実
主要施策	(1)	高齢者の介護予防と生きがいづくりの推進

■主要施策の所管

部等の名称	福祉部	市民生活部		
-------	-----	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	高齢者が、これまでに培った豊かな経験や知識を活かして、住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らしています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標1】

指 標	介護予防を心がける市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる自身や家族の介護予防を心がけている（意識している）市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	68.6	—	—	71.8	—	—	75.0	B
目標値達成率	—	—	—	97.1%	—	—	—	
（結果の分析）	平成26年度アンケートの結果は、目標値を2.1ポイント下回ったが、前回と比べ介護予防に対する意識は上がっており、少しずつ意識は上がっている。							

【指標2】

指 標	在宅介護の取組に対する満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる高齢者が自宅などで安心して暮らせる取組について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	72.9	—	—	76.4	—	—	80.0	B
目標値達成率	—	—	—	93.5%	—	—	—	
（結果の分析）	平成26年度アンケートの結果は、目標値を5ポイント下回っており、高齢者が在宅で安心して暮らせる取組に満足されていない状況である。							

【指標3】

指 標	一次予防事業参加者数（単位：人）							
指標の考え方	生活機能を維持・向上する事業への参加延人数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	628	833	1,166	1,576	1,480 (743)	1,510 (771)	1,540 (800)	A
目標値達成率	—	126.8%	170.2%	220.7%	—	—	—	
（結果の分析）	平成25年度から、これまで健康課で行っていた介護予防事業を高齢介護課実施としたため事業を見直し、対象事業を「いきいきサロン」、「シニア料理教室」から「サポーター養成講座」、「地域への出前講座」などに移して実施し、多くの参加を得ている。							

【指標4】

指 標	二次予防事業参加率（単位：％）							
指標の考え方	要介護状態になるおそれのある高齢者の事業への参加率							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	17.2	13.5	37.5	37.6	38.0 (19.1)	38.3 (19.6)	38.5 (20.0)	A
目標値達成率	—	76.3%	207.2%	202.2%	—	—	—	
（結果の分析）	平成25年度から、まちぐるみ健診受診による二次予防対象者把握を廃止。事業及び計画のニーズ調査等からの把握としたため、参加率が上がっている。結果として、対象者数が減少したが、事業参加者数が増加したことが参加率が向上した要因である。							

【指標5】

指 標	高齢者の介護予防意識の醸成と筋力低下の予防状況（単位：グループ）							
指標の考え方	まちかど体操教室に取り組む地域のグループ数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	—	—	20	34	60	80	100	B
目標値達成率	—	—	100.0%	85.0%	—	—	—	
（結果の分析）	平成25年度から取り組み、平成26年度も引き続き、新規グループへの積極的な啓発を実施したが、グループの立ち上げまでに至らないこともあり、目標を下回った。							

<評価区分> A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(1)	高齢者の介護予防と生きがいづくりの推進
	市の取組	①	介護予防事業の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 介護予防事業の充実
取組方針	CATVや広報紙などあらゆる機会を通じて介護予防事業をPRするとともに、地域や民生児童委員などと連携し、介護予防事業への多くの参加を得て、高齢者の身体機能（生活機能）の低下を防止します。また、介護予防を普及・啓発する地域リーダーの活動を支援します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		6,146	6,612	8,508	0	0
財 源 内 訳	一般財源	1,291	1,389	1,872	0	0
	国・県	2,305	2,480	3,191	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	2,551	2,744	3,446	0	0
市民1人あたりコスト（円）		154.6	167	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	かとうまちかど体操教室					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					新たに14グループの立ち上げ支援を行い、継続グループも含め実人数755人参加。二次予防対象者(59人)のうち、運動機能の項目（基本チェックリスト）で改善16.9%・維持74.6%となり、介護予防の効果があつた。	
	事 業 概 要	「かとうまちかど体操教室」を実施するグループの募集や体操指導者、看護師等の派遣					事業の方向性(H27年度) 継続	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標 (H26)	
	一般財源	459	609	956			指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	国・県	820	1,087	1,629			教室新規実施グループ数 (グループ)	20
	起 債							14
	合計	2,187	2,899	4,345	0	0		
2	事務事業の名称	生活支援サポーター活動支援事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					ボランティアを活用した協力会員と依頼会員で高齢者の生活支援に努めた。	
	事 業 概 要	協力会員と依頼会員を募集し、相互援助活動を実施					事業の方向性(H27年度) 継続	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標 (H26)	
	一般財源	684	697	788			指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	国・県	1,222	1,245	1,344			依頼会員・協力会員数 (人)	100・100
	起 債							87・41
	合計	3,258	3,321	3,584	0	0		

3	事務事業の名称		地域介護予防活動支援事業				実績・評価	
	所管課		高齢介護課				介護ファミリーサポートセンターの協力員の生活支援サポーター及びまちかど体操教室の支援をする介護予防サポーターの養成に努めた。	
	事業概要		生活支援サポーター及び介護予防サポーターの養成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続	
	一般財源	147	82	127			評価指標 (H26)	
	国・県	263	147	217			指標名	
	起債						生活支援サポーター 介護予防サポーター (人)	
	その他	291	163	234			数値(上段:目標、 下段:実績)	
	合計	701	392	579	0	0	50 59(重複あり)	

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(1)	高齢者の介護予防と生きがいづくりの推進
	市の取組	②	高齢者の生活や活動への支援

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 高齢者の生活や活動への支援
取組方針	高齢者による高齢者支援活動（見守り、話し相手など）や地域を豊かにする社会活動、世代間交流活動の機会の充実などに社会福祉協議会と連携し、取り組めます。また、住み慣れた地域で、長く元気に暮らせるように、住宅改造への助成や外出支援を目的に福祉タクシー助成事業を継続して実施します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		64,225	62,508	69,875	0	0
財 源 内 訳	一般財源	49,358	50,870	56,463	0	0
	国・県	11,099	8,429	10,114	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	3,768	3,209	3,298	0	0
市民1人あたりコスト（円）		1,615.3	1,578	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	福祉タクシー事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					当初予算額を上回る申請があったが、実質の利用は目標を下回った。	
1	事 業 概 要	高齢者や障害者等の社会参加を促進するためのタクシー料金の一部助成					事業の方向性(H27年度) 継続 評価指標 (H26) 指標名 数値 (上段:目標、下段:実績) 利用枚数 (枚) 49,800 44,433	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	21,168	22,423	23,211				
	国・県							
	起 債							
	そ の 他							
合計	21,168	22,423	23,211	0	0			
2	事務事業の名称	人生80年いきいき住宅助成事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					住み慣れた家で、住み続けるための住宅改造に係る経費の一部を助成した。また、広報で啓発したが、目標を下回った。	
	事 業 概 要	高齢者や障害者への住環境整備に係る経費の一部助成					事業の方向性(H27年度) 継続 評価指標 (H26) 指標名 数値 (上段:目標、下段:実績) 利用件数 (件) 30 16	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	4,460	1,746	3,716				
	国・県	4,460	1,745	3,715				
起 債								
そ の 他								
合計	8,920	3,491	7,431	0	0			

3	事務事業の名称		老人クラブ活動助成事業				実績・評価	
	所 管 課		高齢介護課				年々老人クラブ離れが進み、会員が減少 (H25 5,557人⇒H26 5,412人)	
	事 業 概 要		老後の生きがいや健康づくりへの助成					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	5,356	5,503	5,617			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	6,639	6,225	6,399			評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段:目標、 下段:実績)
	その他						会員数 (人)	5,673
合計	11,995	11,728	12,016	0	0		5,412	
4	事務事業の名称		老人措置				実績・評価	
	所 管 課		高齢介護課				環境上、また、経済的理由で居宅で養護できない者等を入所させ支援できた。	
	事 業 概 要		養護老人ホームへの入所措置					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	18,374	20,844	23,919			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段:目標、 下段:実績)
	その他	3,768	2,662	3,298			入所者数 (人)	11
合計	22,142	23,506	27,217	0	0		9	
5	事務事業の名称		元気応援通所事業				実績・評価	
	所 管 課		高齢介護課				平成26年度から実施。平成27年度から通所型サービス事業に移行した。	
	事 業 概 要		要支援認定者等の閉じこもり予防のため、機能訓練や趣味活動など各種サービスの提供					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	0	354				事業の方向性(H27年度)	見直し
	国・県		459				評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段:目標、 下段:実績)
	その他		547				利用者数 (人)	9
合計	0	1,360	0	0	0		9	

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(1)	高齢者の介護予防と生きがいづくりの推進
	市の取組	④	介護する家族などへの支援

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	④ 介護する家族などへの支援
取組方針	家族介護用品の支給とともに、認知症を抱える家族間の交流の場の提供や介護教室を充実し、家族の負担軽減に努めます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		4,635	4,139	4,878	0	0
財 源 内 訳	一般財源	973	869	1,024	0	0
	国・県	2,746	2,452	2,890	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	915	817	963	0	0
市民1人あたりコスト（円）		116.6	105	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	家族介護用品支給事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					重度の要介護高齢者を在宅で介護している介護者の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るため、介護用品を支給した。	
1	事 業 概 要	在宅で要介護4又は5の方を介護されている方にパット等介護用品を支給						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	824	711	857			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	2,324	2,006	2,417			評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段: 目標、下段: 実績)
	そ の 他	775	669	806			介護用品支給件数 (件)	165
	合計	3,922	3,385	4,080	0	0		140
2	事務事業の名称	認知症高齢者家族介護者教室					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					アクティビティケア、介護者教室等を行うことで、認知症高齢者を介護する家族の身体的、精神的負担を軽減した。	
	事 業 概 要	介護者同士の情報交換や交流を図ったり、専門医の個別相談等を実施						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	150	158	168			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	422	447	473			評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段: 目標、下段: 実績)
そ の 他	141	149	158			教室参加者数 (延人数)	170	
合計	713	754	798	0	0		137	

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(1)	高齢者の介護予防と生きがいづくりの推進
	市の取組	⑤	高齢者医療の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	⑤ 高齢者医療の充実
取組方針	国が定める新たな高齢者医療制度及び兵庫県の福祉医療制度（老人医療費助成制度、高齢重度障害者医療費助成制度）に基づき、高齢者が安心して受診できる環境を整えます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		47,777	55,182	55,131	0	0
財 源 内 訳	一般財源	19,032	19,918	19,791	0	0
	国・県	20,986	27,564	27,540	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	7,759	7,700	7,800	0	0
市民1人あたりコスト（円）		1,201.6	1,393	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	老人医療費助成事業					実績・評価	
	所 管 課	保険・医療課					65歳から69歳の低所得者に係る医療費の一部を助成することにより、経済的負担を軽減し、福祉の向上を図った。 対象人数 176人	
1	事 業 概 要	65歳～69歳の低所得高齢者に対する医療費の助成					事業の方向性(H27年度)	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	継続	
	一般財源	4,620	5,701	5,693			評価指標 (H26)	
	国・県	4,739	5,683	5,676			指標名	
	起 債						数値 (上段: 目標、 下段: 実績)	
	そ の 他							
合計		9,359	11,384	11,369	0	0		
2	事務事業の名称	高齢重度障害者医療費助成事業					実績・評価	
	所 管 課	保険・医療課					高齢の重度障害者に係る医療費の一部を助成することにより、重度障害者の経済的負担を軽減し、福祉の向上を図った。 対象人数 313人	
	事 業 概 要	後期高齢者医療保険の被保険者のうち重度障害者等に対する医療費の助成					事業の方向性(H27年度)	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	継続	
	一般財源	14,412	14,217	14,098			評価指標 (H26)	
	国・県	16,247	21,881	21,864			指標名	
起 債						数値 (上段: 目標、 下段: 実績)		
そ の 他	7,759	7,700	7,800					
合計		38,418	43,798	43,762	0	0		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】	
介護予防と生きがいづくり施策の重要性を訴え、市内各地域で多くの事業を展開してきたが、まちかど体操教室の取組団体数や市民アンケートの結果では、目標を達成することができなかった。目標達成に向けて、改めてこれらの教室や事業の質と量を検討し、高齢者の介護予防や地域での居場所づくり、生きがいづくりに対する住民個々の意識と満足度を高めていきたい。 なお、平成25年度における健康課との連携事業の一部見直しにより、当初の目標設定時の考え方から外れてしまい、指標3や4では、平成25、26年度の数字が大きく伸びた（想定外の）数字となったため、27年度からの目標値を修正することとした。	
【改善策】	
介護予防事業で、地域の自主的な取組である「まちかど体操教室」を進め、さらに多くの方の参加をめざし、老人クラブや地域の方に啓発を進めていく。また、市の事業だけでは、限度があることを認識し、介護予防に取り組める人材を育成し活用していくことと合わせ、ボランティア団体や社会福祉法人等によって、生活支援、介護予防サービスの開発やネットワーク化が進められていけるように体制整備を図り、隅々まで行き届くサービスの提供や住民同士の心がふれあえる地域づくりを目指す。	
1次評価	A

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】	
【改善すべき点】	
2次評価	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P. 74

政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	3	高齢者保健福祉の充実
主要施策	(2)	介護サービスの充実

■主要施策の所管

部等の名称	福祉部	加東市民病院（病院事業部）	
-------	-----	---------------	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	介護を必要とする高齢者の方などが、地域、行政、関係機関のネットワークの中で必要十分なケアや支援を受けられるまちになっています。
---------	---

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	高齢者福祉サービスの取組に対する満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる高齢者福祉サービスについて満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	76.8	—	—	78.5	—	—	80.0	
目標値達成率				93.9%				B
(結果の分析)	市民アンケート結果に基づく指標であり、平成26年度は目標値を4.8ポイント下回り、満足されていない割合が増えている状況である。							

【指標 2】

指 標	ケアホームかとうの利用率（単位：％）							
指標の考え方	ケアホームかとうの長期及び短期入所の入所利用率							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	84.0	86.0	93.5	94.0	94.5	95.0	96.0	
目標値達成率		108.5%	97.8%	101.1%				A
(結果の分析)	短期入所が市民ニーズとして減少傾向で、長期入所者数が増加した。1月から2月にインフルエンザが流行し入所制限を約1ヶ月間おこなったが、前年より利用率はアップした。							

【指標 3】

指 標	要介護認定率（単位：％）							
指標の考え方	65歳以上に占める要介護認定者の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	19.0	19.0	19.0	19.0	19.0	19.0	19.0	
目標値達成率		102.2%	110.5%	111.8%				A
(結果の分析)	介護に対する初期相談と介護予防事業が地域に広がりつつあるため、認定者を抑えることができ							

【指標 4】

指 標	介護給付費割合（単位：％）							
指標の考え方	介護給付費の計画値に対する実績値の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	110.0	108.3	106.7	105.0	103.3	101.7	100.0	
目標値達成率		107.8%	109.5%	109.0%				A
(結果の分析)	認定者数が計画を下回ったこと等により、給付費が計画値を下回った。							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(2)	介護サービスの充実
	市の取組	①	介護保険制度の円滑な運営

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 介護保険制度の円滑な運営
取組方針	要支援・要介護状態になっても安心して日常生活が営めるように、介護保険制度の安定運営に努め、各種介護サービスの適切な質と量を確保していきます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		2,724,463	2,833,283	2,987,972	0	0
財 源 内 訳	一般財源	534,603	562,095	605,284	0	0
	国・県	1,040,135	1,064,174	1,127,121	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	1,149,725	1,207,014	1,255,567	0	0
市民1人あたりコスト（円）		68,521.0	71,524	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	居宅介護サービス給付事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					特定施設入居者生活介護と訪問看護が計画値を上回ったが、その他の訪問系サービスや通所系サービスが計画値を下回り、結果として、認定率給付費を抑えることができた。	
	事 業 概 要	要介護認定者が利用する通所介護、短期入所生活介護等の在宅サービスに係る保険給付					事業の方向性(H27年度) 継続	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標 (H26)	
	一般財源	239,656	233,622	258,217			指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	国・県	466,280	442,302	480,945			居宅介護サービス給付費 (千円)	1,284,280
	起 債							1,155,425
そ の 他	500,792	479,501	510,038					
合計	1,206,728	1,155,425	1,249,200	0	0			
2	事務事業の名称	地域密着型サービス給付事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護が出来たことにより、計画値を上回った。 (施設サービスからの変更)	
	事 業 概 要	要介護認定者が利用する地域密着型介護サービスに係る保険給付					事業の方向性(H27年度) 継続	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価指標 (H26)	
	一般財源	47,833	66,499	71,466			指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	国・県	93,065	125,899	133,056			地域密着型サービス給付費 (千円)	239,465
	起 債							328,885
そ の 他	99,953	136,487	141,078					
合計	240,851	328,885	345,600	0	0			

3	事務事業の名称		施設介護サービス給付事業				実績・評価	
	所管課		高齢介護課				整備計画していた介護老人福祉施設が地域密着型サービスになったため計画値を下回った。	
	事業概要		介護老人福祉施設、介護老人保健施設等の施設サービスに係る保険給付					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	191,812	202,148	209,310			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	373,193	382,715	389,697			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	400,816	414,902	413,193			施設介護サービス給付費 (千円)	1,056,836 999,765
合計	965,821	999,765	1,012,200	0	0			
4	事務事業の名称		居宅介護予防サービス給付事業				実績・評価	
	所管課		高齢介護課				介護予防特定施設入居者生活介護と介護予防訪問看護が計画値を上回ったが、介護予防訪問介護や介護予防通所系サービスが計画値を下回り、介護予防通所介護などを抑えることができたことにより、介護予防給付費が計画値を下回った。	
	事業概要		通所介護、短期入所生活介護等の在宅予防サービスに係る保険給付					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	16,556	17,247	19,355			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	32,212	32,651	36,036			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	34,596	35,397	38,209			居宅介護予防サービス給付費 (千円)	93,138 85,295
合計	83,365	85,295	93,600	0	0			
5	事務事業の名称		地域密着型介護予防サービス給付事業				実績・評価	
	所管課		高齢介護課				要支援者の利用が見込みを下回ったため、給付費を抑制できた。	
	事業概要		地域密着型介護予防サービスに係る保険給付					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	82	695	620			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	160	1,314	1,155			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	171	1,424	1,225			地域密着型介護予防給付費 (千円)	6,735 3,433
合計	413	3,433	3,000	0	0			
6	事務事業の名称		高額介護サービス費等給付事業				実績・評価	
	所管課		高齢介護課				限度額まで、サービスを利用する影響で、計画値を上回った。	
	事業概要		在宅及び施設サービスの利用料月額が自己負担の上限額を超えた場合に係る保険給付					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	9,306	10,224	11,414			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	18,105	19,355	21,252			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	19,445	20,983	22,534			高額介護サービス給付費 (千円)	44,650 50,562
合計	46,856	50,562	55,200	0	0			
7	事務事業の名称		高額医療合算介護サービス費等給付事業				実績・評価	
	所管課		高齢介護課				医療保険と介護保険の自己負担の年間合計額が計画値を上回った。	
	事業概要		医療保険と介護保険の自己負担の年間合計額が限度額を超えた場合に係る保険給付					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	1,547	1,764	2,421			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	3,009	3,339	4,504			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	3,232	3,621	4,775			高額医療合算介護サービス給付費 (千円)	6,500 8,724
合計	7,788	8,724	11,700	0	0			

8	事務事業の名称	特定入所者介護サービス費等給付事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					単身世帯になる方が増え、負担限度額認定証を利用する者が増えたため、計画値を上回った。	
	事 業 概 要	要介護者のうち負担限度額認定証を利用する者の施設、短期入所サービスに係る保険給付						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	27,812	29,896	32,481			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	54,111	56,599	60,476			評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段:目標、 下段:実績)
	その他	58,116	61,359	64,123			特定入所者介護サービス給付費 (千円)	137,300
合計	140,038	147,854	157,080	0	0		147,854	
9	事務事業の名称	訪問看護一般管理事業					実績・評価	
	所 管 課	ケアホームかとう					H26年度当初に訪問看護師を2名増員し7名体制 (訪問看護師6名・理学療法士1名) となった。体制を充実したことで訪問看護加算などが取得できた。	
	事 業 概 要	疾病又は負傷等ある要介護者等の家庭における継続した療養生活を支援						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源						事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段:目標、 下段:実績)
	その他	32,603	53,340	60,392			訪問看護一般管理事業費 (千円)	43,774
合計	32,603	53,340	60,392	0	0		53,340	

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(2)	介護サービスの充実
	市の取組	②	地域包括ケアの推進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	地域包括ケアの推進
取組方針	地域包括支援センターを拠点とし、高齢者の総合的な相談支援や介護・認知症予防、虐待防止、権利擁護など、高齢者が心身の状況に応じて必要な支援を適切に受けられるように取り組めます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		44,297	52,702	56,533	0	0
財源内訳	一般財源	0	0	10,528	0	0
	国・県	2,645	1,015	26,294	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	41,652	51,687	19,711	0	0
市民1人あたりコスト（円）		1,114.1	1,330	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	介護予防ケアマネジメント事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					介護予防サービス計画を作成し、介護予防事業や介護予防サービスの利用調整や評価を実施	
1	事業概要	ケアマネジメント及び要支援高齢者の新予防給付に関する介護予防支援計画業務						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源			2,190			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県			3,799			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値(上段:目標、下段:実績)
	その他	13,769	15,461	12,075			予防マネジメント件数(件)	3,000
合計	13,769	15,461	18,064	0	0		2,673	
2	事務事業の名称	総合相談事業					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					高齢者の生活や介護などの初期相談や地域生活困難事例などを対応(物忘れ相談プログラム活用件数 H25年度実績を下回った。)	
	事業概要	高齢者の総合相談と必要な各種サービスの調整						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源			4,666			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県		1,015	12,631			評価指標 (H26)	
起債						指標名	数値(上段:目標、下段:実績)	
その他	13,571	17,728	4,294			物忘れ相談プログラム活用件数(件)	1,068	
合計	13,571	18,743	21,591	0	0		1,001	

3	事務事業の名称		権利擁護事業				実績・評価	
	所 管 課		高齢介護課				ちらしの配布や研修会を開催し、権利擁護に関する啓発促進。虐待事例への対応(虐待受理件数 H24年度 6件で、H25年度 8件 H26年度 8件)を図った。	
	事 業 概 要		高齢者虐待の防止及び発生時の対応、成年後見制度の利用促進など高齢者の権利擁護					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	
	一般財源			1,441			継続	
	国・県			3,843			評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段: 目標、下段: 実績)
その他	4,865	6,129	1,302			権利擁護に関する相談	120	
合計	4,865	6,129	6,586	0	0	対応件数 (件)	111	
4	事務事業の名称		包括的・継続的ケアマネジメント支援事業				実績・評価	
	所 管 課		高齢介護課				認知症総合支援事業に取り組み、認知症高齢者等に対する支援や介護支援専門員への個別支援を実施	
	事 業 概 要		包括的かつ継続的なサービスを提供するためのケアマネジメント体制の構築支援					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	
	一般財源			2,231			継続	
	国・県	2,645		6,021			評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段: 目標、下段: 実績)
その他	9,447	12,369	2,040			茶話会及び物忘れ予防	12	
合計	12,092	12,369	10,292	0	0	カフェ (回)	12	

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(2)	介護サービスの充実
	市の取組	③	介護保険制度の基盤整備

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 介護保険制度の基盤整備
取組方針	介護保険事業計画に基づき地域密着型サービス施設を整備するとともに、施設利用の周知に努めます。また、特別養護老人ホームの増床など、必要量（需要量）に応じた供給量を確保します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		80,800	0	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	80,800	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		2,032.1	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称		地域介護・福祉空間整備事業					実績・評価	
		所 管 課	高齢介護課					平成26年度は整備なし（第6期計画 中に定期巡回・随時対応型訪問介護 看護事業所を整備予定）	
	事 業 概 要		地域密着型サービスを開始する事業者 に施設整備費等を助成する。						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続	
	一般財源						評価指標（H26）		
	国・県	80,800					指標名		
	起 債						数値（上段：目標、 下段：実績）		
	そ の 他								
	合計	80,800	0	0	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	3	高齢者保健福祉の充実
	主要施策	(2)	介護サービスの充実
	市の取組	④	ケアホームかとうの運営

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	④ ケアホームかとうの運営
取組方針	利用者や家族が安心して生活できるよう質の高いサービスを提供します。一方で、施設の運営については、加東市民病院との連携を密にし、施設の利用率向上に取り組むとともに、計画的にサービス環境を改善します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		268,102	261,598	258,943	0	0
財 源 内 訳	一般財源	202	123	3	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	267,900	261,475	258,940	0	0
市民1人あたりコスト（円）		6,742.8	6,604	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	ケアホームかとう一般管理事業					実績・評価	
	所 管 課	ケアホームかとう					短期入所者数は、前年度からも市民ニーズとして減少傾向で長期入所率が上がった。インフルエンザ流行により入所制限を1ヶ月間行ったが、結果として稼働率は95%となった。	
	事 業 概 要	介護老人保健施設入所（長期・短期）、通所リハビリテーションサービス業務					事業の方向性(H27年度)	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	継続	
	一般財源	202	123	3			評価指標（H26）	
	国・県						指標名	
	起 債						ケアホームかとう利用	94.0
	そ の 他	267,900	261,475	258,940			率（%）	95.0
合計	268,102	261,598	258,943	0	0			

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】	
<p>特別養護老人ホームで、増加する待機者を全て解消することは難しい状況である。また、その他の施設整備も同様に、新たな施設整備を行うことは、給付費の増加に直結する課題もある。そのため、国が示す地域包括ケアシステムの充実を図る整備計画を進めることが重要であることから、第6期介護保険事業計画で、在宅で日中、夜間にサービスを提供できる定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を整備することとし、高齢者ができる限り住み慣れた地域で、暮らし続けることができる社会の実現を目指していくこととした。</p> <p>平成26年度のケアホームかとうは、介護保険サービス提供の拠点として、長期入所・短期入所・通所リハビリテーションの事業を実施し、訪問看護ステーションは、従来からケアホームかとう2階を拠点とし、事業展開していたが、地域包括ケアの推進を図るため、加東市民病院3階へ移転し看護部での実施とした。</p> <p>また、昨年度までケアホームかとうで実施していた訪問リハビリテーションを、訪問看護の訪問リハビリと統合し、病院事業部全体として所管する事業について見直しを行った。スリム化したことで、事業運営やコスト面でも効率アップにつながった。</p>	
【改善策】	
<p>特養の新規入所については、介護保険制度の改正により、原則として要介護3以上の人が対象となった。既存サービスの適切な組み合わせと医療とを連携することにより、できる限り在宅でケアできるよう支援していくため、地域包括ケアシステムの中核的な役割を担い、日中、夜間を通じて、訪問介護と訪問看護の対応ができる「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を整備していくこととする。</p> <p>また、適切なケアプランの作成や、行き過ぎたサービスがないかチェック、指導していく一方、誤った給付がないように介護支援専門員の研修を充実し、一層の給付の適正化を図る。</p> <p>ケアホームかとうの平成26年6月の長期入所者数は、入所予定で急なキャンセルや、入所者の急な入院による空き室の対応が効率的にできなかった。11月は、申込者が無く、複数の方で急なキャンセルも重なり稼働率が伸びなかった。翌年1月・2月は、インフルエンザ流行により入所制限を約1ヶ月間おこなった結果、稼働率が下がった。このような有事の対策としてできる範囲で安定的に稼働率を維持していけるようケアマネジャーの方々と情報収集を密に行っていく。</p> <p>訪問看護ステーションにおいては、昨年度は訪問看護師3名だったのが、体制強化として人員を理学療法士1名を含め7名とした。よって、昨年まで未算定であった介護保険の緊急時訪問看護加算の届出ができ、24時間対応体制・連絡体制加算を取ることができた。しかし、今後益々、人件費率の均衡を図ることが急務である。訪問看護の新規利用者を増やすため、ケアマネジャーや開業医に利用のお願いをしていく。</p>	
1次評価	A

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】	
【改善すべき点】	
2次評価	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.76

政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	4	障害者・要援護者福祉の充実
主要施策	(1)	障害者福祉の充実

■主要施策の所管

部等の名称	福祉部	市民生活部		
-------	-----	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	障害者一人ひとりの心身の状況や個々のニーズに応じた福祉サービスや支援を受けながら、社会活動への参加や就労機会が確保され、社会的、経済的に自立しています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	障害者に対する取組の満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる障害者などの自立支援や社会参加の促進について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 77.6	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 80.0	評価
数 値	75.3	/	/	74.4	/	/		B
目標値達成率	/	/	/	95.9%	/	/		
（結果の分析）	調査では満足度が0.9ポイント減少し不満足度が0.5ポイント上昇している。また年齢別では60歳までの満足度が減少し高齢者では増加している傾向である。							

【指標 2】

指 標	障害者に対しても分け隔てなく接する市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる障害者に対しても分け隔てなく接する市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 78.1	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 80.0	評価
数 値	76.1	/	/	76.3	/	/		B
目標値達成率	/	/	/	97.7%	/	/		
（結果の分析）	年齢別では各年代とも6割以上が接し方について意識をしているが、全体的には減少している。							

【指標 3】

指 標	障害者の相談件数（単位：件）							
指標の考え方	障害者生活支援センターの利用件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 3,846	H25年度 3,877	H26年度 3,907	H27年度 3,938	H28年度 3,969	H29年度 4,000	評価
数 値	3,815	3,261	4,065	4,725				A
目標値達成率	/	84.8%	104.8%	120.9%				
（結果の分析）	障害者総合支援法の施行により計画相談対象者の利用件数が増加した。							

【指標 4】

指 標	障害者の一般就労に結びついた人数（単位：人）							
指標の考え方	障害者が相談等を通じて就労した人数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 4	H25年度 4	H26年度 4	H27年度 4	H28年度 4	H29年度 4	評価
数 値	4	5	1	3				C
目標値達成率	/	125.0%	25.0%	75.0%				
（結果の分析）	就労相談は随時実施している。障害者それぞれ体調、希望等の諸事情があり、最終的な就労に結び付けることは難題。目標達成はできなかったものの、3人を就労に結び付けることができた。							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	4	障害者・要援護者福祉の充実
	主要施策	(1)	障害者福祉の充実
	市の取組	①	障害者の社会参加の促進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 障害者の社会参加の促進
取組方針	障害者が、心身の状況に応じて多様な社会活動に継続して参加できるように、きめ細かなサービスを提供するとともに、障害者団体の活動を支援します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		34,581	32,903	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	25,646	19,368		0	0
	国・県	8,935	13,535		0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		869.7	831	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

No.	事務事業の名称		実績・評価					
	所 管 課	事業概要						
1	地域活動支援センター等運営補助事業		障害者に創作活動、生産活動の機会を提供する地域活動支援センターへの運営補助を行った。（市内4事業所、市外2事業所）					
	社会福祉課		事業の方向性(H27年度) 継続					
	障害者等が創作活動、生産活動等を行う地域活動支援センターへの運営補助		評価指標 (H26)					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	一般財源	24,894	16,241	25,653			地域活動支援センター	6
	国・県	8,197	12,842	9,033			運営補助件数 (件)	6
	合計	33,091	29,083	34,686	0	0		
2	意思疎通支援・支援者派遣事業		聴覚障害者の支援者である手話通訳者・要約筆記者の派遣を行った。（延べ85回）					
	社会福祉課		事業の方向性(H27年度) 継続					
	手話通訳者・要約筆記者の派遣、視聴覚障害者等の意思疎通支援者を育成する講座の開催		評価指標 (H26)					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	一般財源	752	634	644			手話通訳者、要約筆記者の派遣回数 (回)	132
	国・県	738	693	965				85
	合計	1,490	1,327	1,609	0	0		

3	事務事業の名称		障害者計画等策定事業				実績・評価	
	所 管 課		社会福祉課				障害福祉サービス等の確保に関する実施計画である第4期障害福祉計画を策定した。	
	事 業 概 要		第4期障害福祉計画の策定					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	0	2,493	0			事業の方向性(H27年度)	事業終了
	国・県						評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
	そ の 他							
	合計	0	2,493	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	4	障害者・要援護者福祉の充実
	主要施策	(1)	障害者福祉の充実
	市の取組	②	障害者の生活支援の強化

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	② 障害者の生活支援の強化
取組方針	障害者がいきいきと健康的に生活できるように、虐待防止と「障害者福祉のしおり」による情報提供、さらに居宅介護や生活介護、日常生活用具の給付などの福祉サービスを充実します。また、兵庫県の福祉医療制度（重度障害者医療費助成制度）に基づき安心できる環境を整えます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		524,559	558,459	619,595	0	0
財 源 内 訳	一般財源	164,554	181,140	184,248	0	0
	国・県	337,091	356,560	415,779	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	22,914	20,759	19,568	0	0
市民1人あたりコスト（円）		13,192.8	14,098	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称		障害者福祉年金給付事業					実績・評価	
		所 管 課	社会福祉課					身体障害者手帳1～6級、療育手帳A、B1、B2、精神障害者保健福祉手帳の1～3級の所持者に福祉年金として支給した。	
	事 業 概 要	身体・知的・精神障害者への年金支給							
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続	
	一般財源	21,135	20,968	21,247			評価指標 (H26)	指標名	
	国・県								数値 (上段:目標、下段:実績)
	起 債								
	そ の 他	578	504						福祉年金支給件数 (件)
	合計	21,713	21,472	21,247	0	0			
2	事務事業の名称		特別障害者手当等給付事業					実績・評価	
		所 管 課	社会福祉課					精神又は身体に重度の障害を有するため、日常生活に特別の介護を必要とする状態にある在宅者に、手当を支給した。(H26年度実績48人)	
	事 業 概 要	常時介護を必要とする在宅重度障害者(児)への手当の支給							
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続	
	一般財源	3,000	2,705	2,507			評価指標 (H26)	指標名	
	国・県	9,000	8,494	10,247					数値 (上段:目標、下段:実績)
	起 債								
	そ の 他								特別障害者手当等給付件数 (件)
	合計	12,000	11,199	12,754	0	0			

3	事務事業の名称	自立支援医療費等給付事業					実績・評価	
	所管課	社会福祉課					日常生活能力向上、社会生活能力等回復目的のため医療費助成を実施。	
	事業概要	日常生活能力・社会生活能力等を回復・向上させる目的での医療費助成						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	483	1,731	2,757			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	1,440	5,186	8,191			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他						自立支援医療等給付件数 (件)	8
合計	1,923	6,917	10,948	0	0		58	
4	事務事業の名称	自立支援サービス等給付事業					実績・評価	
	所管課	社会福祉課					障害者が日常生活を送れるよう在宅や施設サービスを実施	
	事業概要	在宅・施設入所障害者への福祉サービス給付						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	92,776	105,509	111,324			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	277,228	293,581	333,000			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他						自立支援サービス等給付実績金額 (千円)	383,000
合計	370,004	399,090	444,324	0	0		399,090	
5	事務事業の名称	身体障害者補装具給付(修理)事業					実績・評価	
	所管課	社会福祉課					失った機能を補完又は代替する用具の購入を補助 (障害者34件、障害児10件)	
	事業概要	失った身体機能を補完又は代替する用具購入費(修理費)の給付						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	1,496	1,023	1,478			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	4,486	2,851	4,429			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他						身体障害者補装具給付、修理の実施件数 (件)	68
合計	5,982	3,874	5,907	0	0		44	
6	事務事業の名称	障害児(者)発達・相談支援センター運営事業					実績・評価	
	所管課	社会福祉課					身体、知的、精神障害者相談支援を実施 (相談4,725件)	
	事業概要	発達障害児・3障害の相談・情報提供支援						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	6,427	6,325	3,213			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	5,755	6,040	9,639			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他						障害者等支援センターの運営実施	3,307
合計	12,182	12,365	12,852	0	0	合計相談件数 (件)	4,725	
7	事務事業の名称	重度心身障害者(児)日常生活用具給付事業					実績・評価	
	所管課	社会福祉課					重度心身障害者(児)の日常生活用具購入費助成、介護用品の給付 (障害者627件、障害児91件) (介護用品給付5人)	
	事業概要	重度心身障害者(児)の日常生活用具購入費助成、介護用品の給付						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	3,446	3,959	2,120			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	3,238	3,601	5,462			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他						日常生活用具購入補助、介護用品給付額 (千円)	7,392
合計	6,684	7,560	7,582	0	0		7,560	

8	事務事業の名称	障害児タイムケア事業					実績・評価	
	所管課	社会福祉課					心身等に障害のある中高生の下校後の居場所確保や社会適応の指導。保護者の就労支援の実施	
	事業概要	障害をもつ中学生・高校生を対象とした下校後等の活動場所の確保						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	5,420	6,554	3,165			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	6,259	5,892	9,496			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	960	963	870			障害児タイムケアの実施登録者 平常時:夏休(人)	9人:12人 11人:15人
合計	12,639	13,409	13,531	0	0			
9	事務事業の名称	地域生活支援事業					実績・評価	
	所管課	社会福祉課					在宅障害者への地域生活支援の実施(訪問入浴サービス135回、訪問看護助成856回)	
	事業概要	在宅障害者(児)への地域生活支援						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	3,131	2,909	2,842			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	899	1,010	1,755			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	80	176	220			在宅障害者等地域生活支援回数(入浴:看護)(回)	109:820 135:856
合計	4,110	4,095	4,817	0	0			
10	事務事業の名称	重度障害者医療費助成事業					実績・評価	
	所管課	保険・医療課					後期高齢者医療保険の被保険者でない高齢重度障害者に係る医療費の一部を助成することにより、重度障害者の経済的負担を軽減し、福祉の向上を図った。対象人数 297人	
	事業概要	後期高齢者医療保険の被保険者でない重度障害者等に対する医療費の助成						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	27,240	29,457	33,595			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	28,786	29,905	33,560			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	627						
合計	56,653	59,362	67,155	0	0			
11	事務事業の名称	訪問介護一般管理事業					実績・評価	
	所管課	社会福祉課					障害者総合支援法に基づき訪問介護サービスを実施(総合支援法:延べ利用者229人、延べ訪問回数2,047回)(全体述べ302人 2,420回)	
	事業概要	障害者(児)を主とし、介護認定を受けた者等への訪問ヘルプサービス及び移動支援						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源						事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	20,669	19,116	18,478			訪問ヘルプサービスの実施回数(利用者:訪問)(回)	288:1,886 302:2,420
合計	20,669	19,116	18,478	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	4	障害者・要援護者福祉の充実
	主要施策	(1)	障害者福祉の充実
	市の取組	③	雇用・就労への支援

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 雇用・就労への支援
取組方針	福祉作業所などの福祉的就労の場の拡充だけでなく、北播磨障害者就業・生活支援センターなどと連携し、一般就労に向けた支援に取り組んでいきます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		543	467	420	0	0
財 源 内 訳	一般財源	543	467	420	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		13.7	12	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称		実績・評価				
		障害者就労支援事業					
	所 管 課	社会福祉課					
	事 業 概 要	障害者に対して就労機会を提供する事業の実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	一般財源	543	467	420			
	国・県						
	起 債						
	そ の 他						
	合計	543	467	420	0	0	
		事業の方向性(H27年度)				継続	
		評価指標 (H26)					
		指標名				数値 (上段:目標、下段:実績)	
		障害者就労支援 (賃金支払) (千円)				200	
						467	

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】
<p>障害者がいきいきと健康的に、安心して日々の生活が送れるように、あらゆる福祉サービスのきめ細かな提供を行うとともに、障害者団体の活動を支援した。</p> <p>H26年度では、障害者優先調達推進法に基づく、「加東市における障害者就労施設等からの物品調達方針」により、市が行う物品や役務の調達を優先的に障害者就労施設等から調達する目標を200,000円と定め、467,524円の実績を収めた。</p> <p>また、ろう者の願いであった「手話言語条例」を県下で最初に制定し、平成27年4月1日施行としたほか、社会福祉課窓口には、聴覚障害者用のマイクキットを整え、聴覚障害者の来庁を助けた。</p>
【改善策】
<p>加東市における物品調達方針により、就労の機会を継続して提供するとともに、県下初の手話言語条例制定都市として、手話が言語であることの啓蒙と手話の普及に努める。</p>

1次評価	A
------	---

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】
【改善すべき点】

2次評価	
------	--

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P. 78

政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	4	障害者・要援護者福祉の充実
主要施策	(2)	要援護者に対する支援

■主要施策の所管

部等の名称	福祉部	教育委員会		
-------	-----	-------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	生活困窮者が、必要な支援を適正に受けて、安定した生活を営みながら、自立更正に取り組んでいます。 また、ひとり親家庭が、経済的に自立し、安心して暮らしています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	社会保障の取組に対する満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる社会保障に関する取組について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 67.0	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 70.0	評価
数 値	63.9			68.2				A
目標値達成率				101.8%				
（結果の分析）	各年代で、保障に対する取り組みは重要であるとの意見が過半数を占めている。年齢が上がるにつれ重要であるとの意見が多い。							

【指標 2】

指 標	児童扶養手当受給者の自立数（単位：件）							
指標の考え方	児童扶養手当受給者の就労支援件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 12	H25年度 15	H26年度 16	H27年度 17	H28年度 18	H29年度 20	評価
数 値	10	15	13	13				B
目標値達成率		125.0%	86.7%	81.2%				
（結果の分析）	就労支援室、ハローワークとの連携強化により取組を進めたが、目標には至らなかった。							

【指標 3】

指 標	生活保護からの自立世帯数（単位：件）							
指標の考え方	就労による保護の廃止件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 2	H25年度 2	H26年度 3	H27年度 4	H28年度 4	H29年度 5	評価
数 値	1	8	4	3				A
目標値達成率		400.0%	200.0%	100.0%				
（結果の分析）	就労支援員を中心とした支援活動の成果が表れている。							

【指標 4】

指 標	生活保護の適正運用（漏救・濫救防止）の取組数（単位：件）							
指標の考え方	生活保護世帯の訪問件数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 793	H25年度 815	H26年度 836	H27年度 857	H28年度 879	H29年度 900	評価
数 値	772	776	707	735				B
目標値達成率		97.9%	86.7%	87.9%				
（結果の分析）	保護率が緩やかに減少し対象数が減っていることと、高齢・障害世帯が多く注意が必要な世帯が少ないことが考えられる。							

【指標 5】

指 標	住宅喪失者の就労（単位：％）							
指標の考え方	住宅手当受給者のうち就労した人の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 81.5	H25年度 85.2	H26年度 88.9	H27年度 92.6	H28年度 96.3	H29年度 100.0	評価
数 値	77.8	25.0	60.0	0				-
目標値達成率		30.7%	70.4%	0.0%				
（結果の分析）	受給対象者なし							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成
D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	4	障害者・要援護者福祉の充実
	主要施策	(2)	要援護者に対する支援
	市の取組	①	生活困窮者などへの自立支援

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	①	生活困窮者などへの自立支援
取組方針	生活困窮者、行旅病人死亡人、成年後見制度利用者及び離職に伴う住宅喪失者に対して法に基づいて適正に対応し、対象者の自立に向けて支援します。また、生活保護においては、漏救・濫救を防ぐよう体制を強化します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		318,248	372,771	368,097	0	0
財 源 内 訳	一般財源	35,287	66,519	73,073	0	0
	国・県	282,677	304,436	294,464	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	284	1,816	560	0	0
市民1人あたりコスト（円）		8,004.0	9,410	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	臨時福祉給付金給付事業					実績・評価	
	所 管 課	社会福祉課					・対象者4,817人 ・申請者4,362人	
	事 業 概 要	消費税率引上げに伴う低所得者への負担軽減のための給付金の支給					・申請率90.6% ・支給対象者4,362人 ・支給率90.6%	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続
	一般財源	0	0	0				
	国・県	0	83,597	46,693			評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	
	そ の 他						数値 (上段:目標、 下段:実績)	
合計	0	83,597	46,693	0	0			
2	事務事業の名称	生活保護安定運営対策事業					実績・評価	
	所 管 課	社会福祉課					生活保護者の適切なデータ管理（生活、医療、介護等）の実施	
	事 業 概 要	診療報酬明細書点検、職員研修・啓発、扶養義務調査等						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続
	一般財源	275	1,160	1,104				
	国・県	4,755	2,882	2,098			評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	
	そ の 他						数値 (上段:目標、 下段:実績)	
合計	5,030	4,042	3,202	0	0	生活保護安定運営対策 費用（千円）	4,151 4,042	

3	事務事業の名称	セーフティネット支援対策事業					実績・評価	
	所管課	社会福祉課					離職者への住宅手当支給及び就労支援の実施。平成27年度は経過措置として予算計上するが対象者がいないため平成27年度をもって事業は終了予定。	
	事業概要	求職中の貧困・困窮者に対し生活、就労、住宅支援の実施						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続	
	一般財源	-34	1	0			評価指標 (H26)	
	国・県	2,720	3,169	446			指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	起債						セーフティネット支援対策 支援数 (件)	36
	その他							1
合計	2,686	3,170	446	0	0			
4	事務事業の名称	生活保護支給事業					実績・評価	
	所管課	社会福祉課					生活困窮者に対し、扶助費の支給を実施 (118世帯、135人)	
	事業概要	生活保護者への生活・医療等の扶助費支給						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続	
	一般財源	9,191	36,223	38,507			評価指標 (H26)	
	国・県	275,196	214,782	245,211			指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	起債						扶助費支給 (世帯:人数)	130:143
	その他	284	1,816	560				118:135
合計	284,671	252,821	284,278	0	0			
5	事務事業の名称	小学校就学援助事務事業					実績・評価	
	所管課	教育総務課					経済的に就学困難な児童の保護者へ学用品・給食費等の就学援助費を支給した。認定者数256名	
	事業概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒へ学校で必要な費用の一部を援助						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続	
	一般財源	13,260	14,486	16,786			評価指標 (H26)	
	国・県	0	6	16			指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	起債							
	その他							
合計	13,260	14,492	16,802	0	0			
6	事務事業の名称	中学校就学援助事務事業					実績・評価	
	所管課	教育総務課					経済的に就学困難な児童の保護者へ学用品・給食費等の就学援助費を支給した。認定者数165名	
	事業概要	経済的な理由によって就学困難な児童生徒へ学校で必要な費用の一部を援助						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続	
	一般財源	12,595	14,649	16,676			評価指標 (H26)	
	国・県	6	0	0			指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	起債							
	その他							
合計	12,601	14,649	16,676	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	4	障害者・要援護者福祉の充実
	主要施策	(2)	要援護者に対する支援
	市の取組	②	ひとり親などへの支援

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	ひとり親などへの支援
取組方針	ひとり親家庭などの自立と生活の安定のために、母子自立支援員などの相談体制を整備・充実し、日常生活や就労について支援します。また、兵庫県の福祉医療制度（母子家庭等医療費助成制度）に基づき安心して受診できる環境を整えます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		132,743	135,984	141,685	0	0
財源内訳	一般財源	89,053	91,408	94,357	0	0
	国・県	43,690	44,576	47,328	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		3,338.5	3,433	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	ひとり親等福祉事業					実績・評価	
	所 管 課	子育て支援課					ひとり親家庭等の就労や生活等の相談に応じた。また、自立支援等の給付対象者がなかったが、今後は、就労支援と並行して推進する。	
	事業概要	自立のための資格取得に向けた自立支援教育訓練費及び高等技能訓練促進費の給付						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	127	568	434			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	0	322	995			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
その他						就労支援案件数 (件)	16	
合計	127	890	1,429	0	0		13	
2	事務事業の名称	ひとり親等福祉事業（児童扶養手当事業）					実績・評価	
	所 管 課	子育て支援課					月平均301人に手当を支給した。	
	事業概要	対象者への児童扶養手当の支給						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	88,926	90,840	93,923			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	43,690	44,254	46,333			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段: 目標、 下段: 実績)
その他						現況届提出率 (%)	100	
合計	132,616	135,094	140,256	0	0		99.1	

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】
生活困窮者が、多くの課題を乗り越え、自立した生活へと移行できるよう、適正な給付を行った。また、生活状況に応じた支援を行っているが、就労対象者が少ないと共に、就職に至っても長続きしないケースが多い。
【改善策】
適正な支援を行いつつ、漏給、濫給のチェックも実施する。 平成27年度からは、新たな生活困窮者自立支援法に基づく事業が始まる。これまでの成果を次につなげていくために、着実な支援を実施する。

1次評価	A
------	---

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】
【改善すべき点】

2次評価	
------	--

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.80

政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	5	医療の充実
主要施策	(1)	地域医療サービスの充実

■主要施策の所管

部等の名称	加東市民病院(病院事業部)		
-------	---------------	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	加東市民病院と地域の各医療機関が、機能分担による連携を強化し、市民や地域のニーズに合った医療サービスが、効率的かつ効果的に提供されています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標1】

指 標	医療体制の満足度（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる医療体制の整備・充実について満足と感じる市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 61.3	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 65.0	評価
数 値	57.6			57.1				B
目標値達成率				93.1%				
(結果の分析)	医療体制の満足度は0.5ポイント下がった。不満と感じる市民の割合は2.8ポイント上昇し、34.0%となった。市民病院の医療体制整備・充実への期待の高さが伺える。							

【指標2】

指 標	かかりつけ医を持つ家庭の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによるかかりつけ医を持っている世帯の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 74.6	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 80.0	評価
数 値	69.3			72.9				B
目標値達成率				97.7%				
(結果の分析)	かかりつけ医を持つ家庭は、前回調査より3.6ポイント上昇したが、目標達成には至らなかった。持っていない家庭は4.0下がった。市民病院の診療科目充実への期待の高さが伺える。							

【指標3】

指 標	加東市民病院の紹介率（単位：％）							
指標の考え方	紹介率による加東市民病院と地域医療機関との連携状況							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 29.4	H25年度 30.3	H26年度 31.3	H27年度 32.2	H28年度 33.1	H29年度 34.0	評価
数 値	28.5	27.7	36.4	31.1				B
目標値達成率		94.2%	120.1%	99.4%				
(結果の分析)	兵庫県認知症疾患医療センターの辞退はあったが、紹介率の目標はほぼ達成できた。							

【指標4】

指 標	加東市民病院の逆紹介率（単位：％）							
指標の考え方	逆紹介率による加東市民病院と地域医療機関との連携状況							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 26.6	H25年度 28.1	H26年度 29.5	H27年度 31.0	H28年度 32.5	H29年度 34.0	評価
数 値	25.1	26.2	35.9	28.9				B
目標値達成率		98.5%	127.8%	98.0%				
(結果の分析)	兵庫県認知症疾患医療センターの辞退はあったが、逆紹介率の目標はほぼ達成できた。							

【指標5】

指 標	加東市民病院の人間ドック利用者数（単位：人）							
指標の考え方	加東市民病院の人間ドック利用状況							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 1,500	H25年度 1,600	H26年度 1,600	H27年度 1,400(1,600)	H28年度 1,500(1,600)	H29年度 1,600	評価
数 値	1,372	1,276	1,151	1,105				C
目標値達成率		85.1%	71.9%	69.1%				
(結果の分析)	協会けんぽを活用する企業等において、年度末前後の受診が避けられる傾向にあり、全体的に人間ドック受診者が減少した。H27年度以降において、目標値を修正した。							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	5	医療の充実
	主要施策	(1)	地域医療サービスの充実
	市の取組	①	地域医療の確保

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 地域医療の確保
取組方針	救急医療などの状況に対応できるように、医療機関の連携体制をさらに構築、強化するとともに、周産期医療をはじめとした市内で不足する医療の確保について、近隣公立病院や医師会と連携しながら取り組んでいきます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		31,265	43,298	56,958	0	0
財 源 内 訳	一般財源	31,265	43,298	56,958	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		783.2	1,093	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,922	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

		事務事業の名称		実績・評価				
1	事務事業の名称	医療の確保					近隣の医療機関等の協力による応援医師、派遣医師を含め、医療サービス提供体制の維持に努めた。	
	所 管 課	病院管理課						
	事 業 概 要	近隣病院との連携による応援医師等の確保						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続
	一般財源	31,265	43,298	56,958			評価指標（H26）	
	国・県						指標名	数値（上段：目標、 下段：実績）
	起 債						診療科数（科）	16
合計	31,265	43,298	56,958	0	0		16	

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	5	医療の充実
	主要施策	(1)	地域医療サービスの充実
	市の取組	②	加東市民病院の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	加東市民病院の充実
取組方針	加東市民病院は、市内の医療機関と連携し、地域の中核病院としての役割を果たしていきます。また、北播磨総合医療センターの開設など北播磨地域での医療環境の変化の中で、患者や市民の視点に立って今後の地域における加東市民病院の役割と位置付けを明確にしていきます。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		39,899	64,013	123,481	0	0
財 源 内 訳	一般財源	199	2,313	281	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	39,700	61,700	123,200	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		999.4	1,616	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,922	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称		病院施設整備				実績・評価	
		所 管 課	病院管理課				4階病棟トイレ・浴室改修工事、外来部門の建物空調設備改修工事などを実施することにより、患者の安全・快適な療養環境を提供できた。	
	事 業 概 要		病院内環境の改善等					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	199	2,313	281			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標 (H26)	
	起 債	39,700	61,700	123,200			指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	そ の 他							
	合計	39,899	64,013	123,481	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	5	医療の充実
	主要施策	(1)	地域医療サービスの充実
	市の取組	③	高齢化社会への対応

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 高齢化社会への対応
取組方針	<p>加東市民病院内に開設した「兵庫県認知症疾患医療センター」を中心に、保健・医療・介護分野との連携を強化し、高齢化社会に対応していきます。</p> <p>加東市民病院「認知症相談室」、「もの忘れ外来」を中心に、「兵庫県認知症疾患医療センター」、他の医療機関、福祉等関係機関をはじめとする保健・医療・介護分野との連携を強化し、高齢化社会に対応していきます。</p>

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		0	0	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		0.0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,922	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	地域支援フロア					実績・評価	
	所 管 課	病院事業部					平成26年4月、加東市民病院3階に「地域支援フロア」を開設するとともに、在宅復帰に向けた地域包括支援病棟の運用準備を進めた。	
事 業 概 要		医療・介護の連携拠点として、訪問看護ステーション、包括支援センター相談窓口、認知症相談、地域医療連携を集約しサービスのワンストップ化を図るとともに、在宅復帰に向けた地域包括支援病棟の運用準備を進める。						
(決算額)		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続
一般財源							評価指標（H26）	
国・県							指標名	
起 債							数値（上段：目標、下段：実績）	
そ の 他								
合計		0	0	0	0	0		

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】	
<p>地域の医療機関との連携の指標のひとつといわれている紹介率について、本院は、特に高度急性期医療を中心とした病院のように、患者の病状に広く応じた医療の提供は難しく、近隣の西脇市立病院（紹介率59.1%）、市立加西病院（紹介率43.9%）、北播磨総合医療センター（紹介率74.2%）と比較すると低い数値となる。近隣の医療機関との機能分担が求められるところである。</p> <p>医師等を中心に、地域医療連携室を通して近隣病院、診療所との連携により、患者のスムーズな転院等や訪問看護ステーションなど退院後の在宅療養のフォローに努めている。しかし、入院から在宅復帰、また、施設へ移ることへ不安のある患者に向けて、在宅復帰に向けたさらなる復帰支援が必要である。</p> <p>昭和56年6月以降順次、建て増しをしてきたが、現在では施設そのものが老朽化しており、入院患者をはじめ本院の利用者が、安全安心で快適に医療等サービスを受けることができる環境づくり（ソフト面も含め）も必要と考える。</p> <p>また、人間ドックについては、現在の医師数の状況から、受け入れの件数に自ずから限度がある状況となっている。</p>	
【改善策】	
<p>復帰支援のために、病棟・病床の新しい機能を備える地域包括ケア病棟の運用に取り組む必要があると考えるが、それに取り組むには厚生労働省への届出が必要で、在宅復帰率やリハビリ介入度合いなどの基準を満たしている実績が求められることから、早急に、その届出に必要な実績をつくり、地域包括ケア病棟の運用を目指して取り組んでいく。</p> <p>また、民間医師紹介業者、医師会ドクターバンク、系列大学等を通じての医師の確保に努めるとともに、地域医療機関との応援協定等を推進して応援医師の派遣などにより医療体制の維持に努める。</p>	
1次評価	B

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】	
【改善すべき点】	
2次評価	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.82

政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	5	医療の充実
主要施策	(2)	医療保険・社会保障制度の確立と充実

■主要施策の所管

部等の名称	市民生活部			
-------	-------	--	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	国民健康保険などの医療保険制度により、誰もが安心して医療を受けられるまちになっています。
---------	--

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標1】

指 標	国民健康保険の特定健診受診率（単位：％）							
指標の考え方	国民健康保険被保険者の特定健診受診率							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 34.0	H25年度 35.0	H26年度 37.0	H27年度 38.0	H28年度 39.0	H29年度 40.0	評価
数 値	32.3	32.7	34.7	36.6				B
目標値達成率		96.2%	99.1%	98.9%				
（結果の分析）	健診全体の受診率は1.9%の増となったが、目標値には0.4%及ばなかった。							

【指標2】

指 標	国民健康保険の特定保健指導実施率（単位：％）							
指標の考え方	国民健康保険被保険者の特定保健指導実施率							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 45.0	H25年度 46.0	H26年度 47.0	H27年度 48.0	H28年度 49.0	H29年度 50.0	評価
数 値	43.6	43.5	45.9	45.9				B
目標値達成率		96.7%	99.8%	97.7%				
（結果の分析）	特定健診の結果、生活習慣病の改善が必要な対象者268人中138人に特定保健指導を行なった。6カ月後の指導終了者は123人（速報値：11月に確定）で、目標値に1.1%届かなかった。							

【指標3】

指 標	国民健康保険税収納率（単位：％）							
指標の考え方	国民健康保険税全体の収納率							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 72.8	H25年度 73.0	H26年度 73.3	H27年度 73.5	H28年度 73.8	H29年度 74.0	評価
数 値	72.5	72.5	73.8	74.0				A
目標値達成率		99.6%	101.1%	101.0%				
（結果の分析）	収納率は、現年度分が前年度を上回ったが、滞納繰越分が前年度を下回った。最終年度の目標値に向け、税務課と連携し収納率を維持、向上させていく。（前年度比 現年度：+0.2%、滞納繰越：-2.7%、全体：+0.2% 滞納繰越分が下がった理由は前年度は高額滞納者の納付があったため。）							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 -：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	5	医療の充実
	主要施策	(2)	医療保険・社会保障制度の確立と充実
	市の取組	①	国民健康保険制度の適切な運用

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 国民健康保険制度の適切な運用
取組方針	国民健康保険制度について周知し、被保険者資格の適用適正化や適正受診の意識を啓発するなど、制度を適切に運用するとともに、滞納防止・収納対策を強化します。また、健診の充実による疾病の予防やレセプト点検の徹底などにより、医療費を適正化します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		1,107,542	1,120,054	1,720,875	0	0
財 源 内 訳	一般財源	347,301	382,290	374,863	0	0
	国・県	325,447	311,507	361,057	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	434,794	426,257	984,955	0	0
市民1人あたりコスト（円）		27,855.0	28,275	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	出産育児一時金給付事業					実績・評価	
	所 管 課	保険・医療課					給付申請に対し、適切に給付を行った。	
	事 業 概 要	出産育児一時金の給付					@390,000円×1件 @404,000円×1件 @420,000円×28件	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続
	一般財源	6,540	4,185	7,000			評価指標 (H26)	
	国・県						指標名 数値(上段:目標、下段:実績)	
	起 債							
そ の 他	13,080	8,369	14,000					
合計	19,620	12,554	21,000	0	0			
2	事務事業の名称	葬祭費給付事業					実績・評価	
	所 管 課	保険・医療課					給付申請に対し、適切に給付を行った。	
	事 業 概 要	被保険者の死亡に伴う葬儀の執行者に対する葬祭費の給付					@50,000円×38件	
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続
	一般財源	2,500	1,900	3,000			評価指標 (H26)	
	国・県						指標名 数値(上段:目標、下段:実績)	
	起 債							
そ の 他								
合計	2,500	1,900	3,000	0	0			

3	事務事業の名称	後期高齢者支援金事業					実績・評価	
	所管課	保険・医療課					後期高齢者医療制度への現役世代(国保分)の負担を支援金として、社会保険診療報酬支払基金へ拠出金を納付した。	
	事業概要	後期高齢者医療制度の運営のための支援金						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	214,139	238,448	240,546			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	190,017	184,227	213,288			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値(上段:目標、下段:実績)
	その他	57,209	44,412	45,608				
合計	461,365	467,087	499,442	0	0			
4	事務事業の名称	介護納付金事業					実績・評価	
	所管課	保険・医療課					介護保険制度を支援するため、国民健康保険会計から社会保険診療報酬支払基金へ拠出金を納付した。	
	事業概要	国保加入者のうち、介護保険第2号被保険者(40歳~64歳)の人数に応じて納付						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	121,090	117,835	116,064			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	95,005	82,988	94,959			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値(上段:目標、下段:実績)
	その他	-5,300						
合計	210,795	200,823	211,023	0	0			
5	事務事業の名称	高額医療費拠出金事業					実績・評価	
	所管課	保険・医療課					高額医療費に係る財政調整のため、兵庫県国民健康保険連合会へ拠出金を納付した。	
	事業概要	1件80万円以上の高額な医療費の支給のための拠出金						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源						事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	30,771	36,532	39,176			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値(上段:目標、下段:実績)
	その他	30,414	36,107	39,179				
合計	61,185	72,639	78,355	0	0			
6	事務事業の名称	保険財政共同安定化事業					実績・評価	
	所管課	保険・医療課					高額医療費に係る財政調整のため、兵庫県国民健康保険連合会へ拠出金を納付した。	
	事業概要	1件30万円以上の高額な医療費の支給のための拠出金						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源		16,805	2,235			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値(上段:目標、下段:実績)
	その他	332,571	327,181	872,195				
合計	332,571	343,986	874,430	0	0			
7	事務事業の名称	特定健康診査等事業費					実績・評価	
	所管課	保険・医療課					H26年度から、かかりつけ医からの健診データの提供を受ける簡易健康受診を設け、受診率の向上を図ったが、目標に達しなかった。今後も啓発等を行い受診率の向上を図る。 集団健診受診者数 1,852人 簡易健康受診者数 158人 個別健診受診者数 210人	
	事業概要	将来の医療費抑制のため、生活習慣病に着目した健診・保健指導の実施						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	0					事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	6,704	7,760	7,634			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値(上段:目標、下段:実績)
	その他	6,820	10,188	13,973			特定健診受診率(%)	37.0
合計	13,524	17,948	21,607	0	0		36.6	

8	事務事業の名称		医療費適正化				実績・評価	
	所管課		保険・医療課				医療費適正化のため、各種の施策を実施。後発医薬品差額通知、保険証に貼れるジェネリック医薬品希望シールの配付等などの事業にも取り組み、H26年度の保険給付費は、1.0%の微増にとどまった。	
	事業概要		医療費通知、後発医薬品差額通知、40歳以上被保険者の胃がん・大腸がん検診の無料化					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	3,032	3,117	6,018			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	2,950		6,000			評価指標 (H26)	
	起債						指標名	数値 (上段：目標、 下段：実績)
	その他							
	合計	5,982	3,117	12,018	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	5	医療の充実
	主要施策	(2)	医療保険・社会保障制度の確立と充実
	市の取組	②	後期高齢者医療制度の適切な運用

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	後期高齢者医療制度の適切な運用
取組方針	後期高齢者医療制度が適切に運用され、対象者がスムーズにサービスを受けられるように、制度を周知するとともに、窓口事務を充実します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費 (千円)		763,200	792,391	824,589	0	0
財 源 内 訳	一般財源	327,833	340,942	345,710	0	0
	国・県	62,114	69,550	71,988	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	373,253	381,899	406,891	0	0
市民1人あたりコスト (円)		19,194.7	20,003	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口 (3月31日現在) (人)		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	後期高齢者医療特定検診事業					実績・評価
	所 管 課	保険・医療課					まちぐるみ総合健診の基本健康診査を無料で実施。健康診査への関心を促進した。 受診者数 621人
	事 業 概 要	後期高齢者医療被保険者を対象とした基本健診の実施					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続
	一般財源	106	139	478			
	国・県						評価指標 (H26) 指標名 数値 (上段:目標、下段:実績)
	起 債						
そ の 他	2,795	3,083	3,147				
合計	2,901	3,222	3,625	0	0		
2	事務事業の名称	後期高齢者医療事業					実績・評価
	所 管 課	保険・医療課					75歳以上(一定の障害がある人は65歳以上)を対象に経済的負担を軽減し、高齢者福祉の充実を図った。 軽減対象者 3,385人
	事 業 概 要	後期高齢者医療制度に係る市事務費、県広域連合負担金(事務費及び療養給付費)					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 継続
	一般財源	327,727	340,803	345,232			
	国・県	62,114	69,550	71,988			評価指標 (H26) 指標名 数値 (上段:目標、下段:実績)
	起 債						
そ の 他	41	37	42				
合計	389,882	410,390	417,262	0	0		

3	事務事業の名称	後期高齢者医療広域連合納付事業					実績・評価	
	所 管 課	保険・医療課					徴収率 99.81%と前年度より0.09%向上した。	
	事 業 概 要	後期高齢者医療制度にかかる保険料を市が徴収し広域連合へ納付						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源						事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
	その他	370,417	378,779	403,702				
合計	370,417	378,779	403,702	0	0			

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	5	医療の充実
	主要施策	(2)	医療保険・社会保障制度の確立と充実
	市の取組	③	国民年金制度の適切な運用

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	③ 国民年金制度の適切な運用
取組方針	広報かとうなどにより、未加入者や未納者の解消に向けて、市民の国民年金制度への理解を深めるとともに、定期的に年金相談を実施します。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		1,146	1,592	1,388	0	0
財 源 内 訳	一般財源	109	63	65	0	0
	国・県	1,037	1,529	1,323	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		28.8	40	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称		国民年金事務					実績・評価	
		所 管 課	保険・医療課					国民年金制度の周知及び適用促進を行った。	
	事 業 概 要	国民年金事務の執行					加入制度の、来訪相談 555件 電話相談 1,347件		
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度)	継続	
	一般財源	109	63	65			評価指標 (H26)		
	国・県	1,037	1,529	1,323			指標名		
	起 債						数値 (上段：目標、 下段：実績)		
	そ の 他								
	合計	1,146	1,592	1,379	0	0			

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】
<p>国民健康保険制度全般についての啓発を行い、制度を適切に運用するための情報提供や指導を行った。</p> <p>また、税務課と連携し、税等の滞納防止・収納対策を強化し、収納率については、滞納繰越分は下がったが、現年度分が向上したことにより、全体の収納率は0.2%向上した。目標が達成できたが、さらなる向上を目指す。</p> <p>保険者努力義務となっている健診受診率は、目標数値にはわずかであるが達成できなかった。健康課との協力・連携を強め集団検診、個別健診や特定保健指導等の啓発等を行い、目標達成を目指す。</p> <p>また医療費適正化として、健診結果内容による疾病の予防対策（特定保健指導等）、レセプト点検の強化、ジェネリック医薬品の啓発、頻回受診者対策など、さらなる医療費の適正化対策を進める。</p>
【改善策】
<p>収納率向上のため、短期証、資格者証の発行を厳格かつ適正に行い、滞納者との面談回数を増やす。また受診率向上のため、健康課との連携を強化し、まちぐるみ健診・個別健診の受診啓発を図るとともに、医療データを利用したデータヘルス計画を策定することにより、加東市の現状を把握して、加東市としての保健事業、医療費適正化事業を検討し取組を進める。</p>

1次評価	B
------	---

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】
【改善すべき点】

2次評価	
------	--

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.84

政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	6	地域保健・地域福祉の推進
主要施策	(1)	保健・医療・福祉連携のネットワークづくり

■主要施策の所管

部等の名称	市民生活部	福祉部	加東市民病院（病院事業部）
-------	-------	-----	---------------

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	保健・医療・福祉が連携し連続性をもつことにより、市民一人ひとりのライフステージに的確に対応しています。
---------	---

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標1】 **※新規設定**

指 標	医療・介護に関する相談率（65歳以上の入院患者の相談率）（単位：％）							
指標の考え方	市民病院に設置する地域包括支援センターへの相談状況							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	評価
数 値	-	-	-	20.8	22.0	24.0	26.0	-
目標値達成率	-	-	-	-	-	-	-	-
（結果の分析）	平成27年度に新規設定（65歳以上の市民病院入院患者等で、介護等に関する相談を受けられた方が2割程度あった。）							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成
 D：年度別目標値の達成率が60%未満 -：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	6	地域保健・地域福祉の推進
	主要施策	(1)	保健・医療・福祉連携のネットワークづくり
	市の取組	①	保健・医療・福祉の連携強化

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	①	保健・医療・福祉の連携強化
取組方針	保健・医療・福祉の連携を強化した総合的な健康づくりや介護予防を推進します。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		0	407	0	0	0
財 源 内 訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	407	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		0.0	10	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	地域包括支援センター サブセンター設置・運営					実績・評価	
	所 管 課	高齢介護課					平成26年4月に、加東市民病院にサブセンターを開設した。	
	事 業 概 要	加東市民病院内に、サブセンターを設置し医療との連携を図る。						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源						事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
そ の 他		407				サブセンター数 (箇所)	1	
合計	0	407	0	0	0		1	
2	事務事業の名称	地域支援フロア					実績・評価	
	所 管 課	病院事業部					政策Ⅲ「安心」、施策5「医療の充実」、主要施策(1)「地域医療サービスの充実」、市の取組③「高齢化社会への対応」と同じ。	
	事 業 概 要	医療・介護の連携拠点として、訪問看護ステーション、包括支援センター相談窓口、認知症相談、地域医療連携を集約しサービスのワンストップ化を図るとともに、在宅復帰に向けた地域包括支援病棟の運用準備を進める。						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源						事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標 (H26)	
	起 債						指標名	数値 (上段:目標、下段:実績)
そ の 他								
合計	0	0	0	0	0			

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】	
<p>平成26年4月1日、加東市民病院内に地域支援フロアを設け、その中に地域包括支援センターのサブセンターを開設した。訪問看護ステーション、地域医療連携室、認知症相談と当サブセンターが同居し、介護と医療のワンストップサービス体制が構築できた。平成26年度に、ネットワークシステムの整備も完了し、庁舎の包括支援センターとネット上で結びつけることができ、身近な地域で安心して暮らし続けられる体制が一つ整った。</p> <p>一方、医療の分野においては、地域医療連携室を通して、入院患者のスムーズな転院等や訪問看護ステーションなど退院後の在宅療養のフォローに努めている。しかし、高齢の患者の中には在宅復帰、また施設へ移ることへの不安のある方もあり、復帰支援が必要であると考えている。</p>	
【改善策】	
<p>高齢者が住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられるよう、地域包括支援センター（サブセンター含む。）と地域支援フロア（市民病院）との連携はもとより、医師会や健康課等との連携を密にできるよう研修会や調整会を実施する。</p> <p>また、在宅復帰支援機能を備える地域包括支援病棟の届出ができるように準備（厚生労働省の届出基準を満たすため）を進める。</p>	

1次評価	A
------	---

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】	
【改善すべき点】	

2次評価	
------	--

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。

■加東市総合計画（後期基本計画）での位置づけ ⇒総合計画 P.86

政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
施 策	6	地域保健・地域福祉の推進
主要施策	(2)	地域福祉活動の促進

■主要施策の所管

部等の名称	福祉部			
-------	-----	--	--	--

■主要施策の目的・概要

将来あるべき姿	誰もが住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域で支え合い助け合っています。
---------	---------------------------------------

■後期基本計画で定めている指標と目標及び実績

【指標 1】

指 標	地域福祉活動に参加した市民の割合（単位：％）							
指標の考え方	市民アンケートによる地域の福祉活動にボランティアとして参加した市民の割合							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) —	H25年度 —	H26年度 45.2	H27年度 —	H28年度 —	H29年度 50.0	評価
数 値	40.4			39.4				B
目標値達成率				87.2%				
（結果の分析）	年代が上がるほど参加率は上昇傾向にあり、50代以上の参加率が各年代で4割以上となる。また、70歳代が最も高く56.0%となることから若年層の福祉への参加の減少が伺える。							

【指標 2】

指 標	地域への出張啓発活動数（単位：回）							
指標の考え方	「かとう福祉学校」などへの市職員の講師派遣や地域活動回数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 4	H25年度 5	H26年度 7	H27年度 8	H28年度 9	H29年度 10	評価
数 値	3	21	33	37				A
目標値達成率		525.0%	660.0%	528.6%				
（結果の分析）	地域ケアホットミーティング（17回）・介護予防ホットミーティング（13回）、民生委員会（3回）、ヘルパー養成講座（みのり4回）に職員を派遣した。職員派遣職回数延べ数37回。							

【指標 3】

指 標	福祉ボランティア登録数（単位：人）							
指標の考え方	社会福祉協議会に登録されているボランティア数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 1,077	H25年度 1,101	H26年度 1,126	H27年度 1,151	H28年度 1,175	H29年度 1,200	評価
数 値	1,052	1,035	1,112	1,056				B
目標値達成率		96.1%	101.0%	93.8%				
（結果の分析）	PRに努め、ボランティアの場を提供し、ほぼ目標を達成した。							

【指標 4】

指 標	ボランティア活動の場の提供数（単位：回）							
指標の考え方	福祉関連事業におけるボランティア活動の場の提供数							
下段数値は、年度別目標値 →	H23年度 基準値	(H24年度) 1	H25年度 2	H26年度 2	H27年度 2	H28年度 3	H29年度 3	評価
数 値	1	1	3	3				A
目標値達成率		100.0%	150.0%	150.0%				
（結果の分析）	パラリンピック・わかあゆ園と東条デイサービスセンターの夏祭りにボランティアを募り、場を提供した。							

＜評価区分＞ A：年度別目標値を達成 B：年度別目標値の80%以上を達成 C：年度別目標値の60%以上を達成
D：年度別目標値の達成率が60%未満 —：成果指標の測定ができないもの

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	6	地域保健・地域福祉の推進
	主要施策	(2)	地域福祉活動の促進
	市の取組	①	地域福祉活動の促進

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	① 地域福祉活動の促進
取組方針	社会福祉協議会の活動を支援するとともに、地域、民生児童委員、ボランティア、学校との連携や、支え合い活動のネットワークづくりに取り組みます。

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		41,650	46,640	46,405	0	0
財 源 内 訳	一般財源	35,417	40,521	40,282	0	0
	国・県	6,233	6,119	6,123	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		1,047.5	1,177	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	民生委員活動					実績・評価	
	所 管 課	社会福祉課					民生児童委員の活動を支援（民生児童委員103人、協力委員192人）	
	事 業 概 要	民生児童委員・協力委員の活動研修						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	2,358	2,063	2,477			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県	6,233	6,119	6,123			評価指標（H26）	
	起 債						指標名	数値（上段：目標、 下段：実績）
	そ の 他						民生児童委員の活動費 （千円）	8,409 8,182
合計	8,591	8,182	8,600	0	0			
2	事務事業の名称	社会福祉協議会助成事業					実績・評価	
	所 管 課	社会福祉課					適正かつ効果的な社会福祉協議会の活動が図れるよう注視し、事務局運営事業、給食サービス事業、移送サービス事業、ボランティア運営事業、ボランティア研修事業、心配事相談事業実施のための支援を行った。	
	事 業 概 要	社会福祉協議会への活動助成						
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	一般財源	33,059	35,677	37,805			事業の方向性(H27年度)	継続
	国・県						評価指標（H26）	
	起 債						指標名	数値（上段：目標、 下段：実績）
	そ の 他						運営費や各種事業の支援を実施する 活動助成額（千円）	39,052 35,677
合計	33,059	35,677	37,805	0	0			

3	事務事業の名称	地域福祉計画策定事業					実績・評価
	所 管 課	社会福祉課					平成27年4月から平成29年3月までの3カ年の地域福祉計画を社会福祉協議会と一体的に策定した。また、地域福祉をより充実させるには市と社協が協働する事が大切である。
	事 業 概 要	地域福祉計画の策定					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 事業終了
	一般財源	0	288	0			
	国・県						評価指標 (H26)
	起 債						
その他						数値 (上段: 目標、 下段: 実績)	
合計	0	288	0	0	0		
4	事務事業の名称	障害者計画等策定事業					実績・評価
	所 管 課	社会福祉課					平成27年4月から平成29年3月までの3カ年の第4期障害福祉計画を策定した。策定にあたり国の定める基本指針に即し、加東市の実情を反映した計画として策定した。
	事 業 概 要	第4期障害福祉計画の策定					
	(決算額)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	事業の方向性(H27年度) 事業終了
	一般財源	0	2,493	0			
	国・県						評価指標 (H26)
	起 債						
その他						数値 (上段: 目標、 下段: 実績)	
合計	0	2,493	0	0	0		

後期基本計画の 政策体系	政 策	Ⅲ	『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち
	施 策	6	地域保健・地域福祉の推進
	主要施策	(2)	地域福祉活動の促進
	市の取組	②	地域福祉活動の担い手の充実

■主要施策を進めるための「市の取組」

市の取組	②	地域福祉活動の担い手の充実
取組方針	かとう福祉学校への市職員の講師派遣などを通じて社会福祉協議会と協力し、市民ボランティアの発掘と活動機会の提供（マッチング）を行います。	

■総合計画・後期基本計画に記載している「指標とその目標」に追加すべき指標

指標名	指標の考え方	H25	H26	H27	H28	H29

■「市の取組」を推進するための経費（決算額）

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総 事 業 費（千円）		0	0	0	0	0
財源内訳	一般財源	0	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
市民1人あたりコスト（円）		0.0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
人口（3月31日現在）（人）		39,761	39,613			

■市の取組を構成する主な事務事業とその取組結果

1	事務事業の名称	ボランティア活動推進事業					実績・評価	
	所 管 課	社会福祉課					地区や施設等に職員を延べ数37回派遣するなど、ボランティアの啓発に努め、ボランティアの場の提供も3箇所を継続しているが、ボランティア登録数の伸びが低い状況である。	
(決算額)	事業概要	福祉事業におけるボランティア活動の場の提供					事業の方向性(H27年度)	
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	継続		
	一般財源		0	0			評価指標 (H26)	
	国・県						指標名	
	起債						ボランティア活動の場の提供数（箇所）	数値（上段：目標、下段：実績）
	その他							2
合計		0	0	0	0	0	3	

■総合分析及び自己評価（1次評価）

【評価、現状・課題認識】	
福祉関連事業におけるボランティア活動への支援を民生児童委員等へ呼びかけるとともに、社会福祉協議会への支援活動を通じて、地域福祉の向上を図った。	
【改善策】	
加東福祉学校等福祉関連事業を通じ、ボランティア活動への参加を継続して呼びかけるとともに新たな活動団体へのPRや、現在未登録で活動を行っている方々への登録を呼びかける。	
1次評価	A

■2次評価（まちづくり推進市民会議意見）

【主要施策推進に対する意見】	
【改善すべき点】	
2次評価	

- <評価区分> A：目標達成に向けて、十分に事業の効果が表われている。
 B：目標達成に向けて、一部の事業の取組に改善が必要。
 C：目標達成に向けて、事業の取組に大幅な改善が必要。